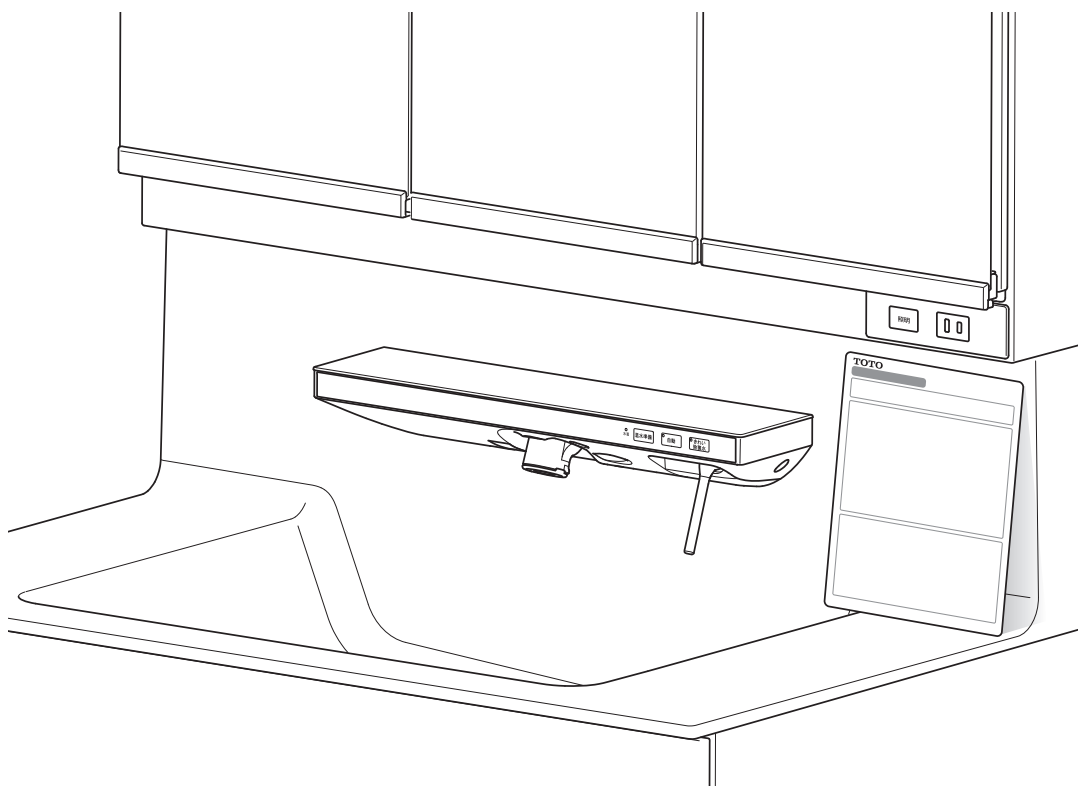


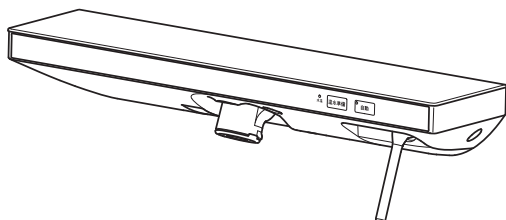
水栓ユニット (ラクラクスマート水栓)

「自動水栓使いかたガイド」が付属されている場合（F4・F3）は、
お客様の目に必ず入る位置においてください。
商品の機能が十分に発揮されるように、
この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

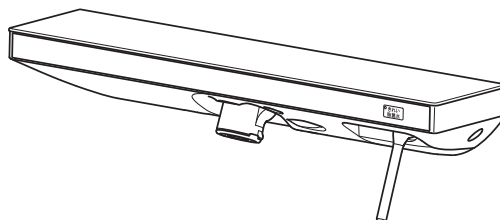
F4 LJFA001A型(自動水栓・自動「きれい除菌水」)



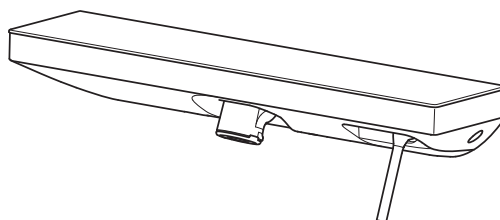
F3 LJFA001B型(自動水栓)



F2 LJFA001C型(「きれい除菌水」)



F1 LJFA001D型



•本書と併せて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

もくじ

1) 安全上のご注意	3
2) 部品の確認	5
3) 仕様	6
4) 取り付け前に	7
5) 完成図	8
6) 取り付け手順	10
1) 取り付け前に	
2) 水栓本体部の取り付け	
3) スパウト部の取り付け	
4) 除菌ノズル本体の取り付け	
5) ブラケットの取り付け	
6) ケースの取り付け	
7) 機能部固定板の取り付け	
8) ホースの接続	
9) 機能部の取り付け	
10) フィルターの取り付け	
11) 分岐金具の取り付け	
12) フレキシブル管の取り付け	
13) シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け	
14) 駆動部の取り付け	
15) 給水・給湯ホースの接続	
16) 化粧鏡の取り付け	
17) 配線の接続	
18) ストッパーの取り付け	
19) サーミスターユニットの固定	
20) センサー内ランプの確認	
21) ホースカバーの固定	
22) 水受けトレイの取り付け・シャワーホースの収納	
23) 排水トラップの取り付け	
7) 化粧鏡のLED照明の明るさ設定	24
8) 試運転	24
シングル水栓の確認	
自動水栓の確認	
「きれい除菌水」の確認	
9) 吐水口部のお掃除のしかた	27
10) 使用上の注意	28
11) 点検事項	29
12) 寒冷地用の水抜き方法	33

1 安全上のご注意

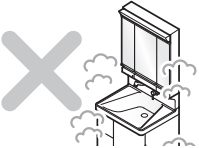
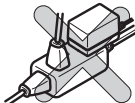
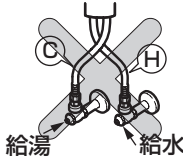
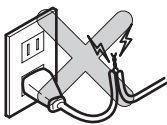
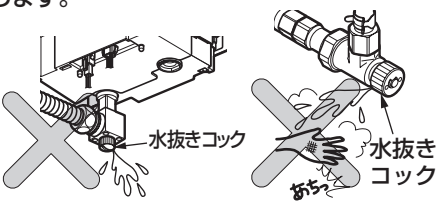
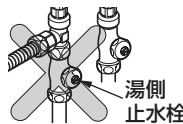
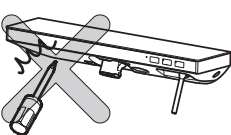
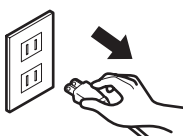
- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

 警告	
 禁止 浴室など湿気の多い場所へ設置しない 漏電により感電するおそれがあります。 	 禁止 コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 
 禁止 湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。 	 禁止 電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 
 禁止 給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温で使用する、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 	 禁止 電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない 火災や感電の原因になります。
寒冷地用  禁止 水抜きコックは水抜き以外の目的で開けない 水抜きコックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 	 禁止 分岐金具は湯側に配管しない 湯が出てやけどをすることがあります。また水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
 禁止 ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。 	 接触禁止 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。 
 禁止 電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。 	 分解禁止 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。 
 禁止 指定する電源(AC100V)以外では使用しない 火災の原因になります。 	 必ず実行 この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	 必ず実行 水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う 火災や感電および水漏れの原因になります。
	 必ず実行 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。 

警告



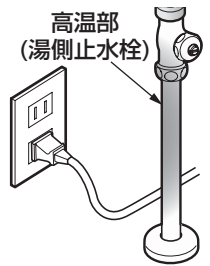
電源プラグを差し込むときは根元までしっかり差し込む
火災や感電の原因になります。



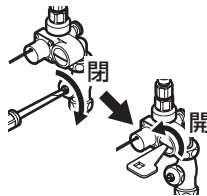
コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること
火災や感電の原因になります。



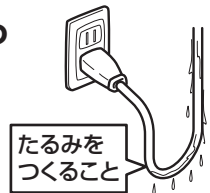
電源コードは高温部に接触しないようにする
火災や感電の原因になります。



フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓を閉めてから行う
また、湯側駆動部が熱くないことを確認する
高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



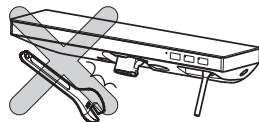
電源コードを伝ってコンセントに水がかからないようにコンセント付近で必ずたるみをつくるよう、配線すること
火災や感電の原因になります。



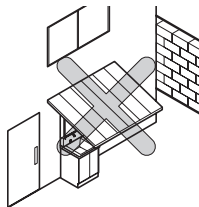
注意



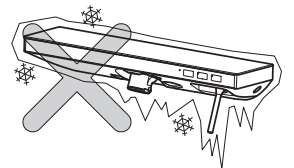
強い力や衝撃を与えない
破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



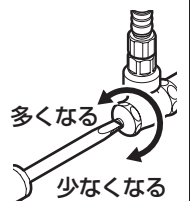
屋外には設置しない
故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「12) 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う
部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



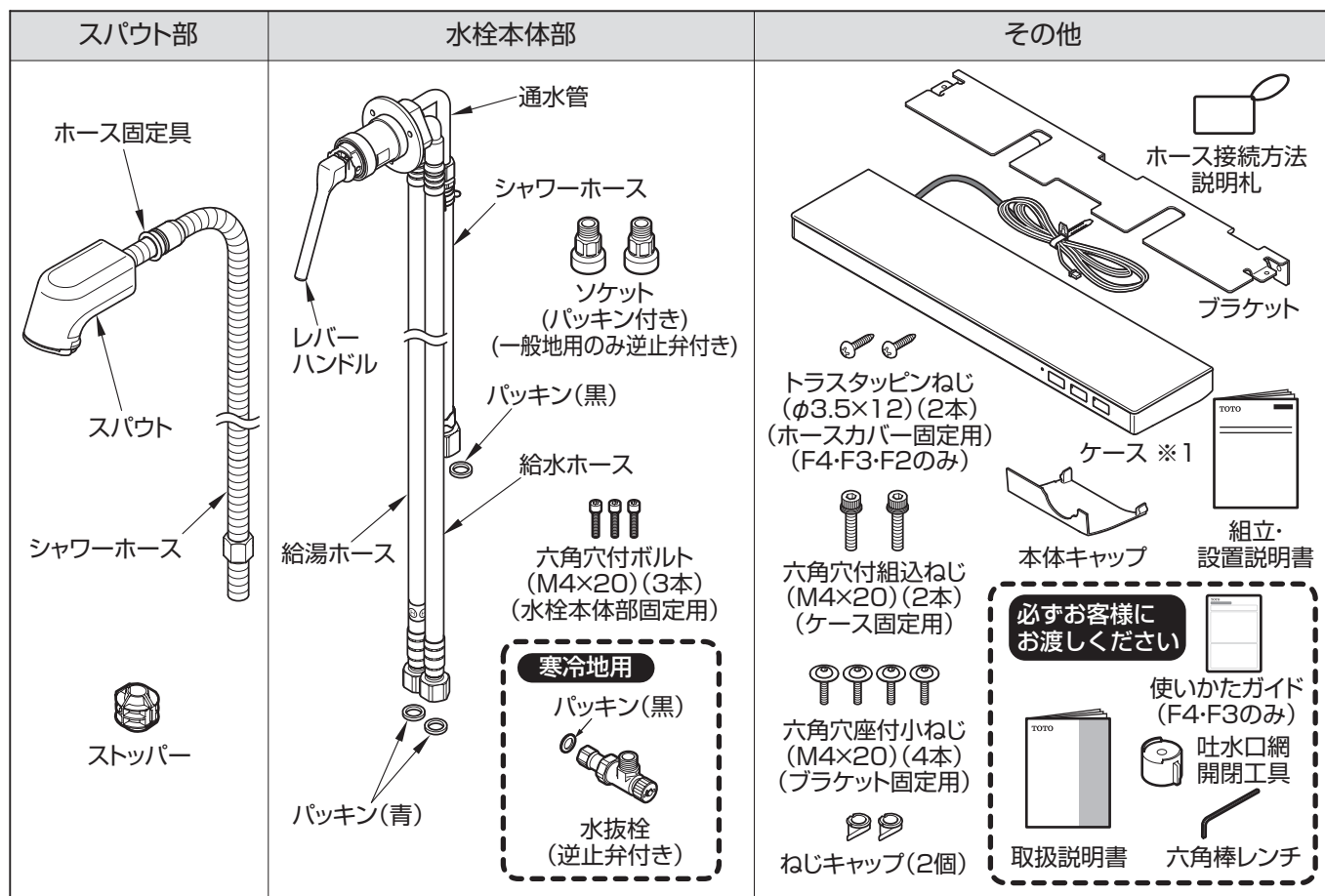
必ず止水栓にて流量を調節する
配管の給水圧が高いと水が勢い良く出すぎて、ご使用の際、水はねする場合があります。
「11) 点検事項」の「流量、吐水状態、吐水温度の確認」を参照し、調節してください。



2 部品の確認

• 次の部品があることを確認してください。

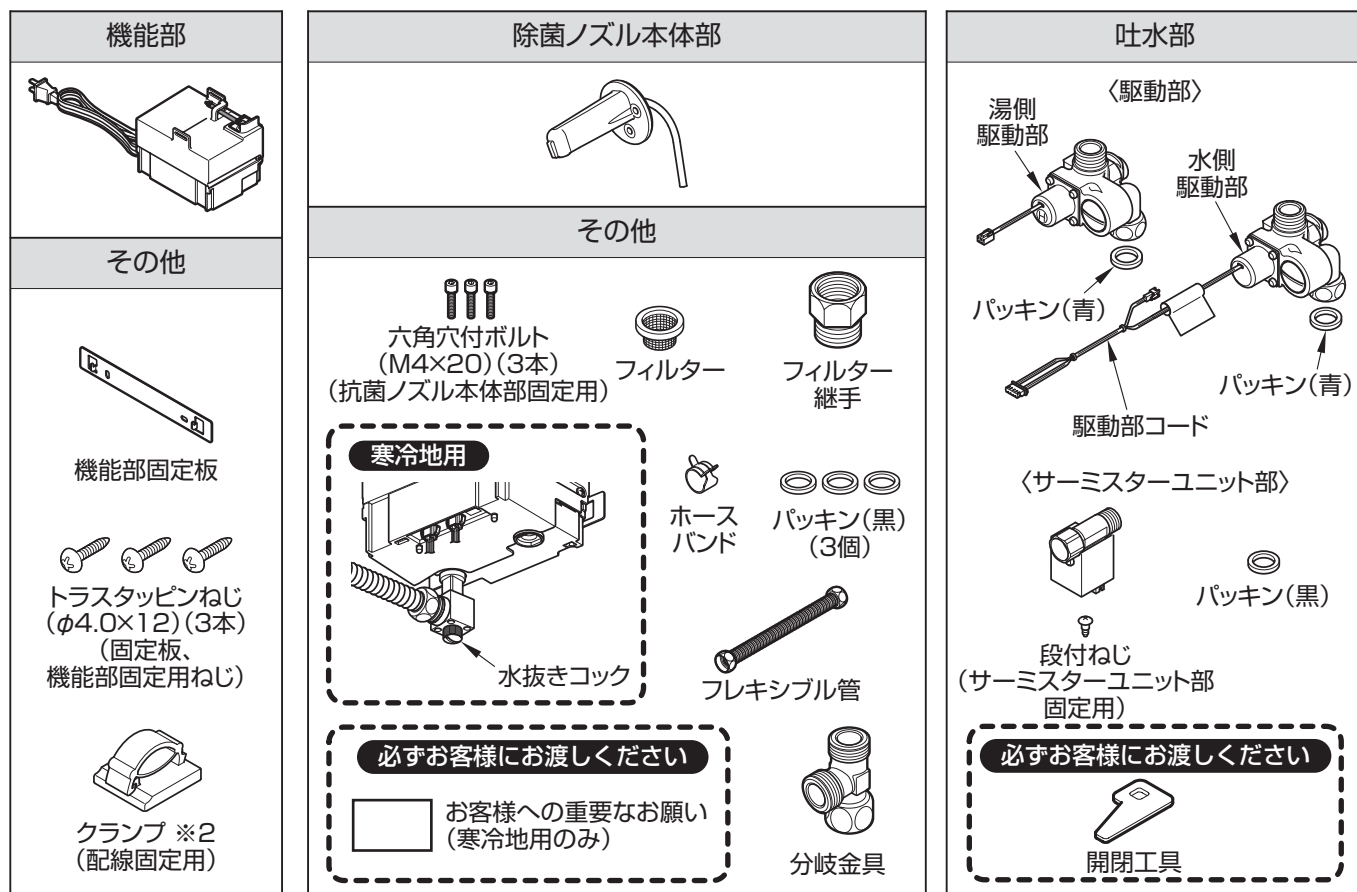
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



【F4・F3・F2共通】

【F4・F2共通】

【F4・F3共通】



※1：コードバンドは配線するときに使用するため外さないでください。

※2：機種によって使用する個数が変わります。

3 仕様

※消費電力は水質により変動します。

機種		F4	F3	F2	F1
電源電圧		AC100V 50/60Hz			—
消費電力	待機時	0.5W	0.4W	0.4W	—
	動作時	20W	1.4W	19W	—
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.1MPa(流動時)		0.07MPa(流動時)	
	最高水圧	0.75MPa(静止時)			
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水			
使用最高温度		85℃以下(推奨使用温度50℃以下)			
使用環境温度 (水栓金具)	一般地	1～40℃			
	寒冷地	-20～40℃(ただし、0℃以下は水を抜いた状態)			
使用環境温度 (「きれい除菌水」)	一般地	1～40℃	—	1～40℃	—
	寒冷地	-5～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	—	-5～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	—
吐水量(「きれい除菌水」)		0.25L/min	—	0.25L/min	—
電源コード長さ		580mm			—
操作部コード長さ		1530mm			—
ホース長さ (「きれい除菌水」用)		850mm	—	850mm	—
給水接続		G1/2			
用途		一般住宅洗面所			

4) 取り付け前に

4

取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 魔ほうびん電気即湯器と組み合わせる場合は、水栓タイプは即湯器入口への最低給水圧力が0.1MPa以上必要です。自動タイプは0.11MPa以上必要です。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 湯ぽっと(TOTO製洗面所用電気温水器)と組み合わせる場合は、電気温水器入口への最低給水圧力が0.1MPa以上必要です。給水圧力が低いと吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。

2. 給湯温度の確認

- 自動水栓はやけど防止のため、45℃以上のお湯は出ないようにしています。適切な水温や吐水量を確保するために50℃以下の給湯をおすすめします。

3. 配管・配線の確認について

- コントローラーや駆動部、コード類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。コード類の断線や破損の原因となります。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 止水栓を取り付けたあと、給水・給湯管内のごみを完全に洗い流してください。内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、吐水が乱れたりすることがあります。
- 電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力はP.6の **3**「仕様」を確認し、必ずこれに適した配線をしてください。

4. その他

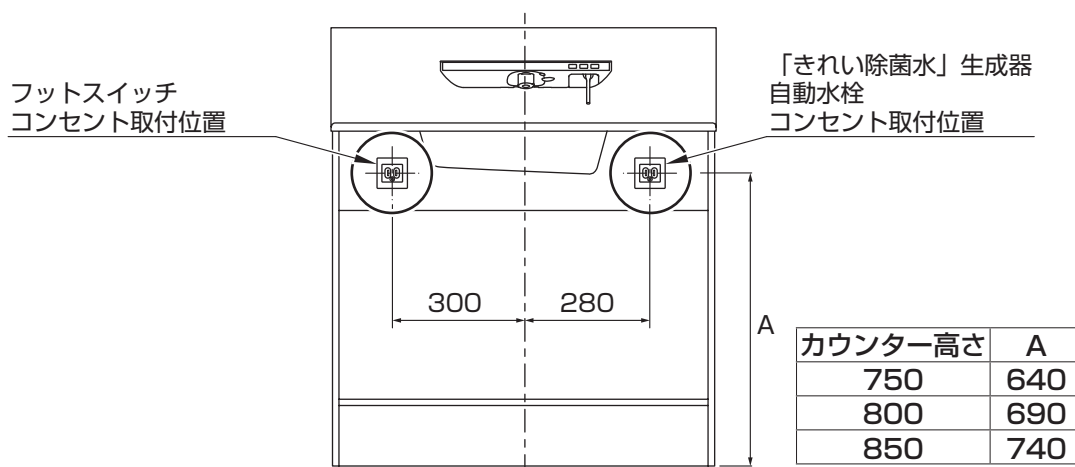
- 屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- センサー面を傷つけないように十分にご注意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 自動水栓タイプは湯ぽっととフットスイッチを組み合わせることはできません。瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。

【化粧台の上に水栓ユニット(F4・F3・F2)と連動する化粧鏡を設置しない場合】

- キャビネット内にコンセントが設置してあることを確認してください。

※コンセントは露出型1口コンセントを使用してください。

推奨品:パナソニック製 WK1012W(外形寸法48角以下)



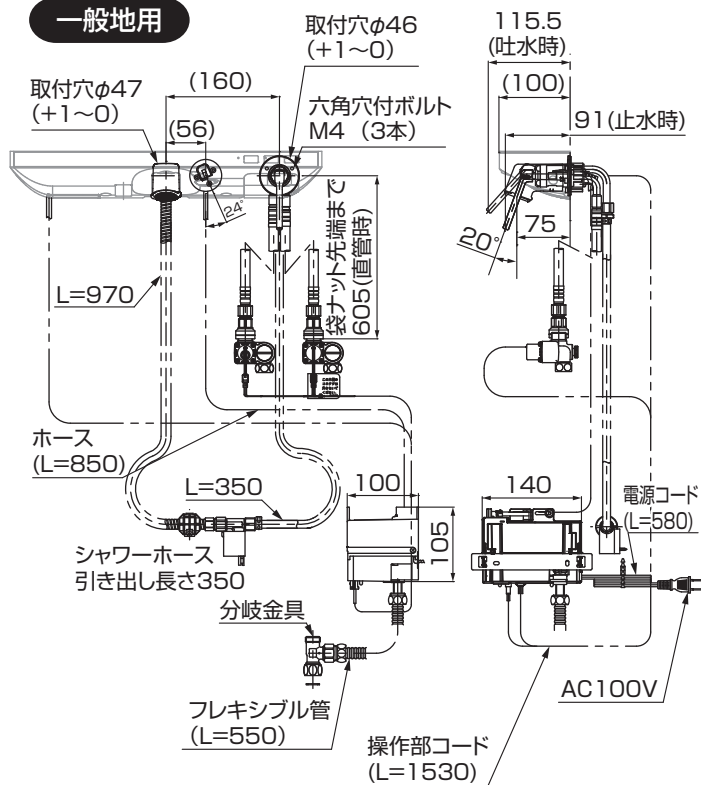
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

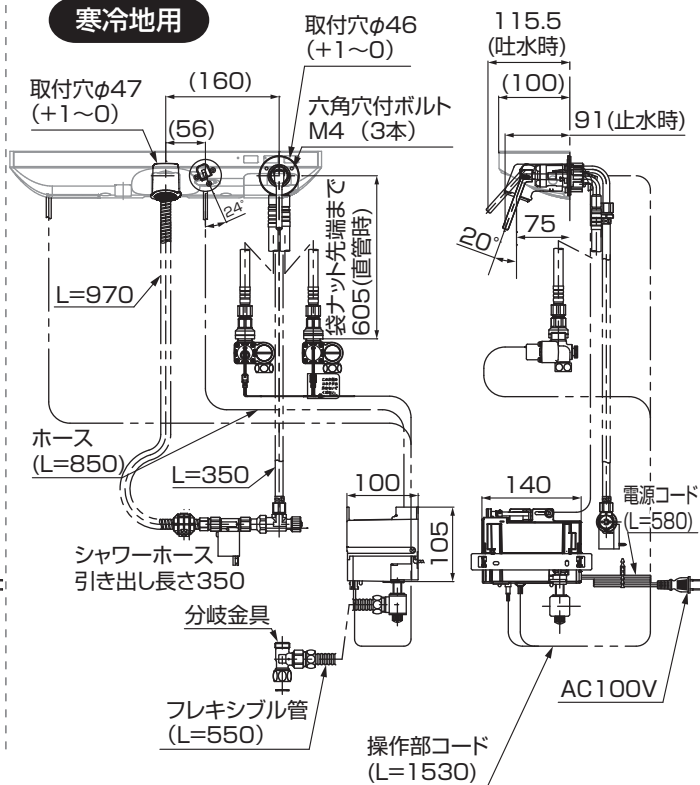
(単位: mm)

F4 LJFA001A型(自動水栓・自動「きれい除菌水」)

一般地用

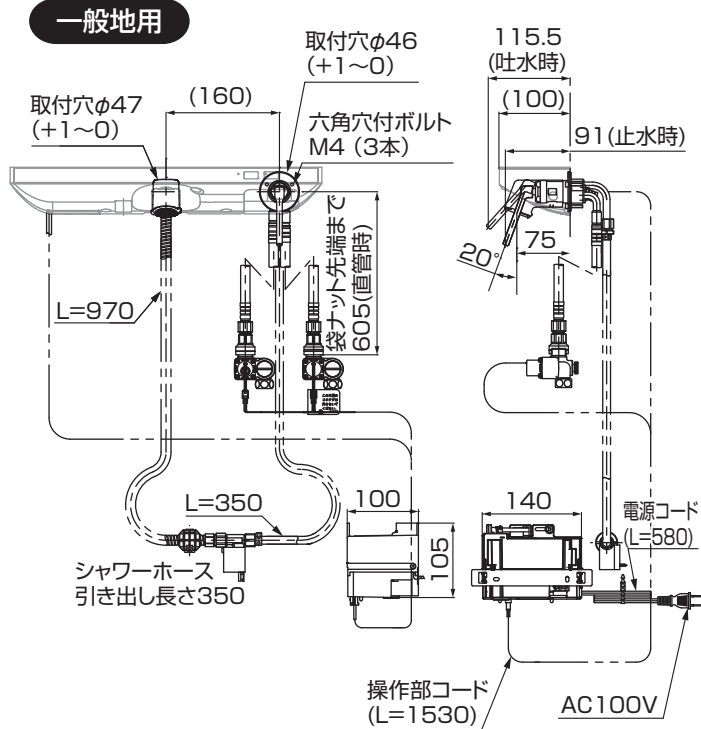


寒冷地用

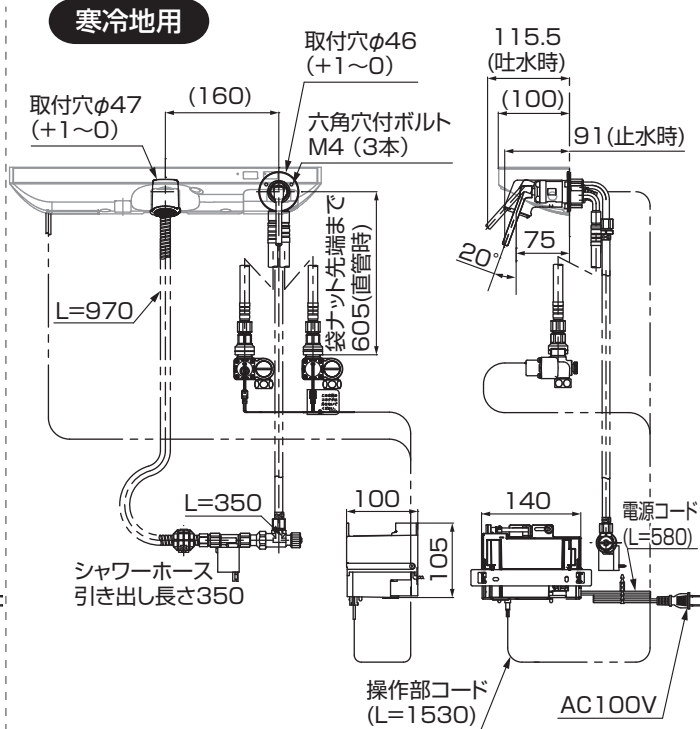


F3 LJFA001B型(自動水栓)

一般地用

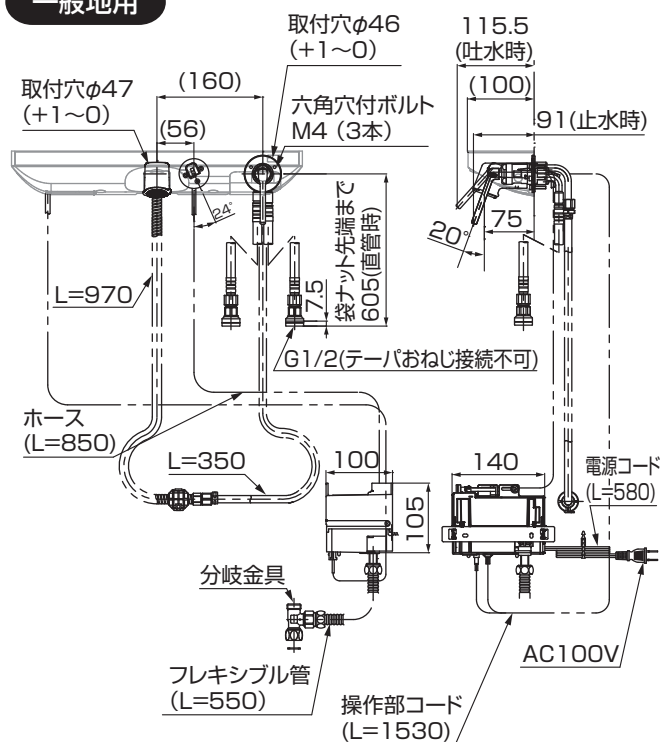


寒冷地用

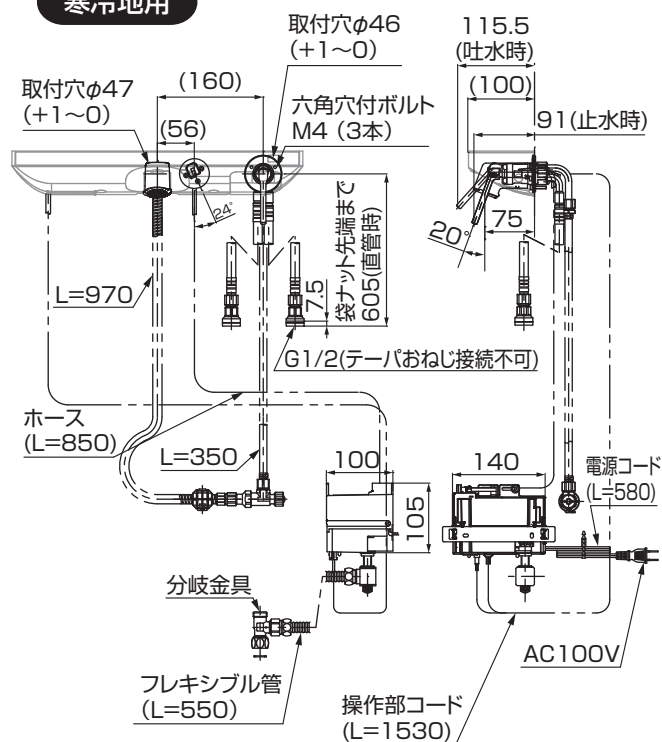


F2 LJFA001C型(「きれい除菌水」)

一般地用

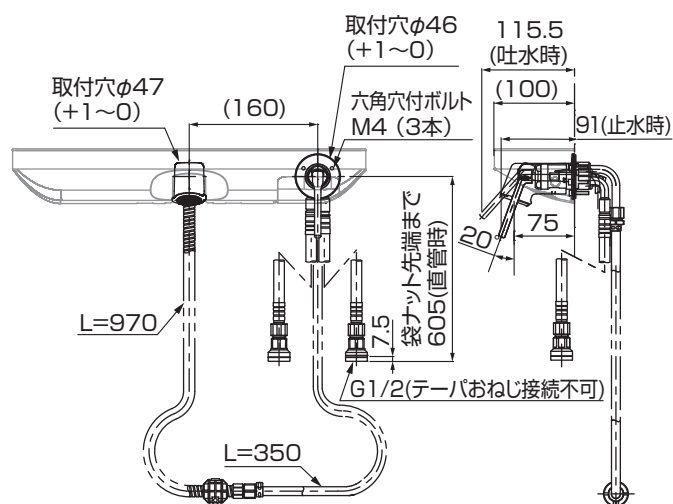


寒冷地用

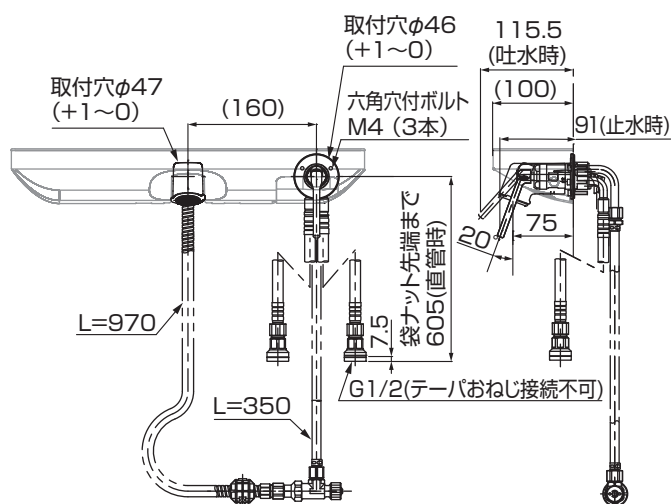


F1 LJFA001D型

一般地用



寒冷地用

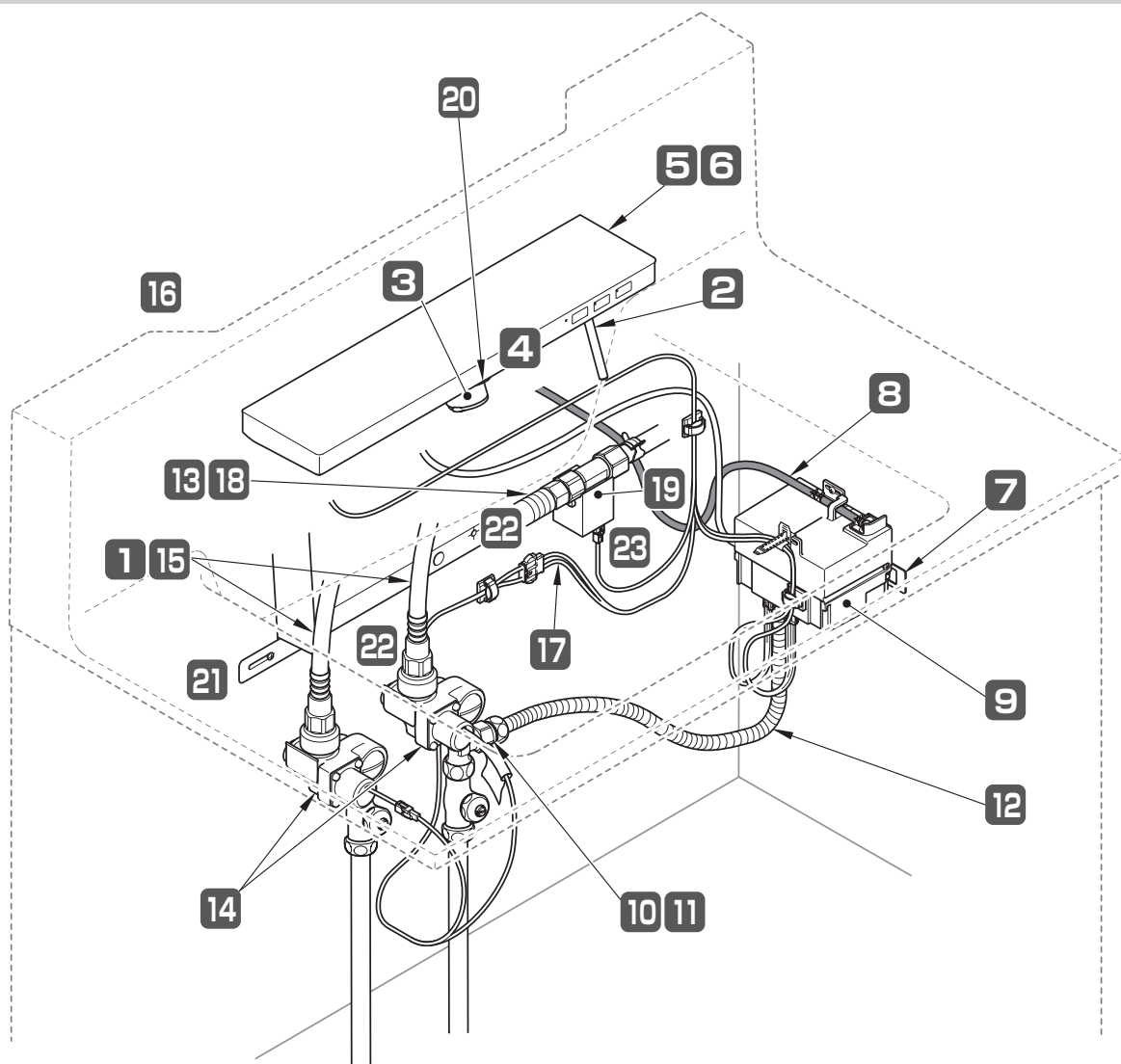


6 取り付け手順

6

取り付け手順

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
F4	取り付け前に	水栓本体部の取り付け	スパウト部の取り付け	除菌ノズル本体の取り付け	ブラケットの取り付け	ケースの取り付け	機能部固定板の取り付け	ホースの接続	機能部の取り付け	フィルターの取り付け	分岐金具の取り付け	フレキシブル管の取り付け	シャワーホース・サミスターユニットの取り付け	駆動部の取り付け	給水・給湯ホースの接続	化粧鏡の取り付け	配線の接続	ストッパーの取り付け	サミスターユニットの固定	センサー内ランプの確認	ホースカバーの固定	水受けトレイの取り付け・シャワーホースの収納	排水トラップの取り付け
F3																							
F2				4 除菌ノズル本体の取り付け				8 ホースの接続		10 フィルターの取り付け	11 分岐金具の取り付け	12 フレキシブル管の取り付け											
F1																							



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃 (F4・F3・F2・F1)

重要

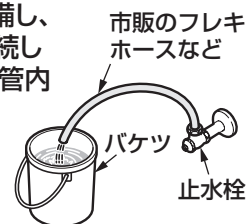
止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

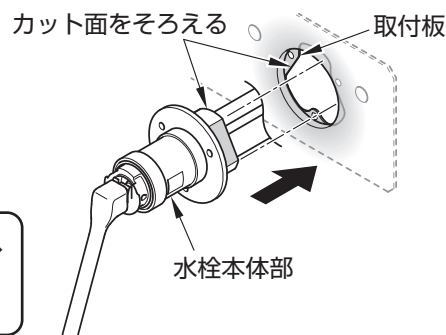
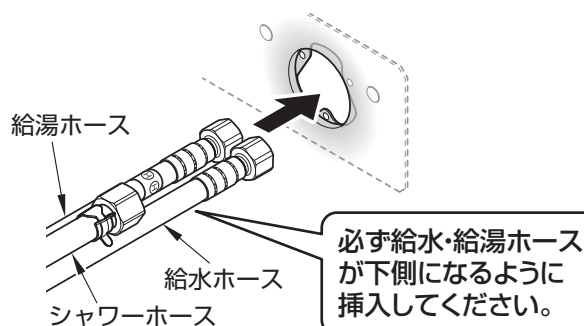
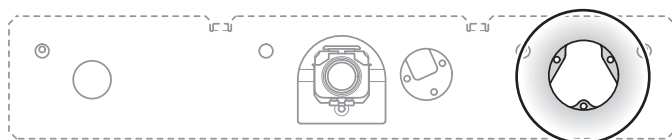
- ①吐水量が少ない
 - ②温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



2 水栓本体部の取り付け (F4・F3・F2・F1)

- ① 化粧台正面より給水・給湯ホース、シャワーホース、水栓本体部の順に挿入し、取付板と水栓本体部のカット面が合うようにセットする



- ② 水栓本体部をボルトで3カ所固定する

注意

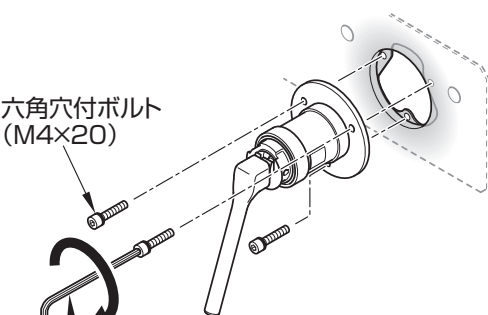


- ・電動ドライバーは使用しないでください。
- ・付属の六角棒レンチで締め付けてください。ねじの焼き付きの原因になります。

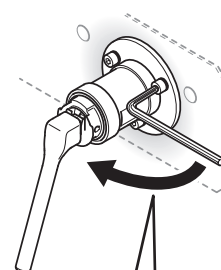
六角穴付ボルト (M4×20)

六角棒レンチ

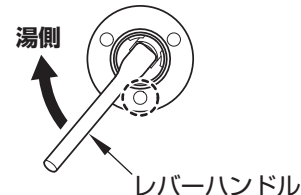
最初はレンチは**縦**に！
回らなくなるまで
締め付ける



次にレンチは**横**に！
30～60° 程度増し
締めする



レバーハンドルを湯側に
回した状態で、下側の
ボルトを締め付ける。

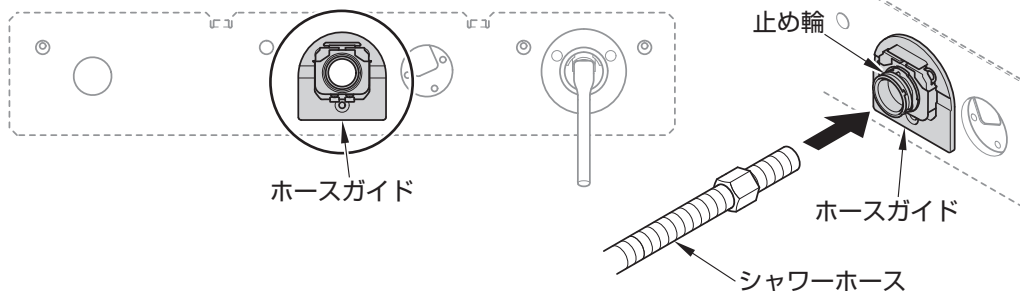


③ スパウト部の取り付け (F4・F3・F2・F1)

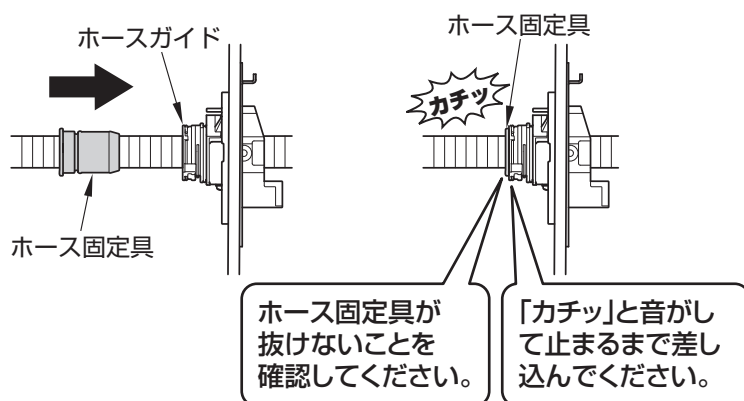
注意

止め輪は外さないでください。

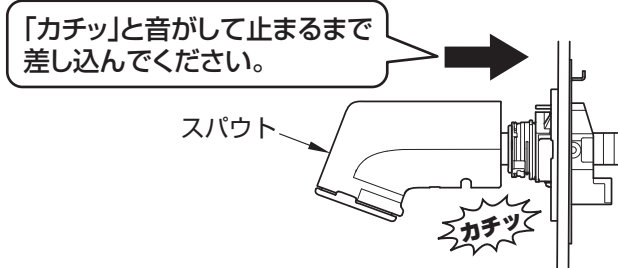
① シャワーホースのねじ側からホースガイドに通す



② ホース固定具を「カチッ」と音がするまでホースガイドに挿入する



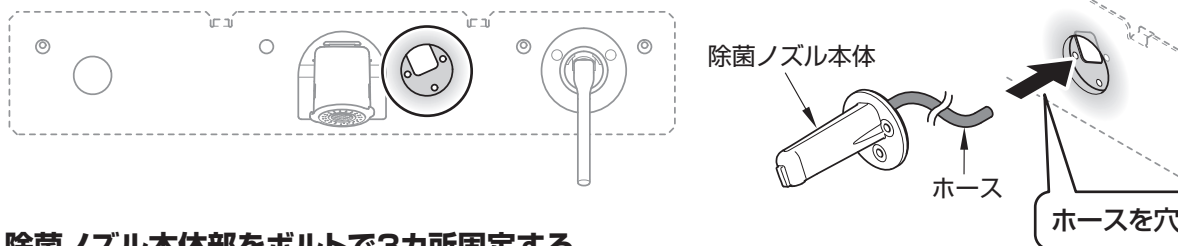
③ スパウトを「カチッ」と音がするまで挿入する



〈F3・F1の場合〉→ P.13回へ

④ 除菌ノズル本体の取り付け (F4・F2)

① ホースを取付穴に入れる



② 除菌ノズル本体部をボルトで3カ所固定する

注意



・電動ドライバーは使用しないでください。
・付属の六角棒レンチで締め付けてください。
ねじの焼き付きの原因になります。

最初はレンチは縦に！
回らなくなるまで
締め付ける

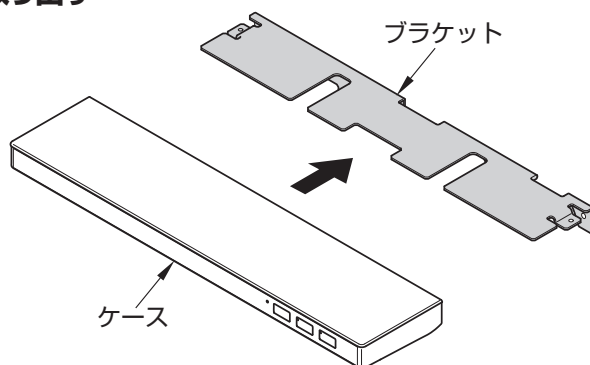
六角穴付ボルト
(M4×20)

六角棒レンチ

次にレンチは横に！
30～60° 程度増し
締めする

5 ブラケットの取り付け(F4・F3・F2・F1)

1 ケースからブラケットを取り出す



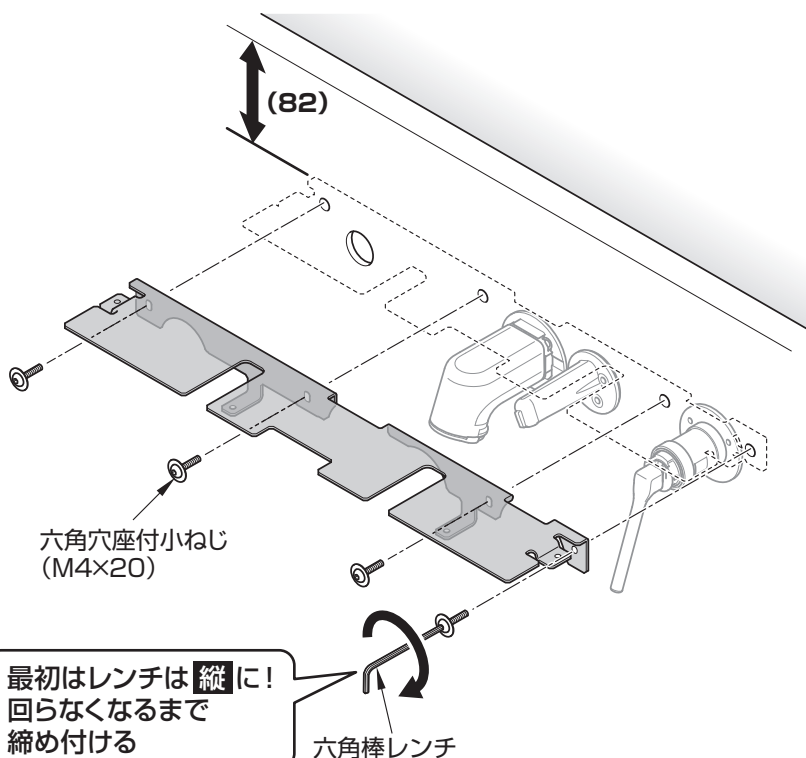
2 ブラケットを六角穴座付小ねじで4カ所固定する

注意



- 電動ドライバーは使用しないでください。
- 付属の六角棒レンチで締め付けてください。
ねじの焼き付きの原因になります。

3 設置後、ブラケットが傾いている場合は、ねじをゆるめて調整してください。 (ハイバック天面からブラケット天面まで約82mm)

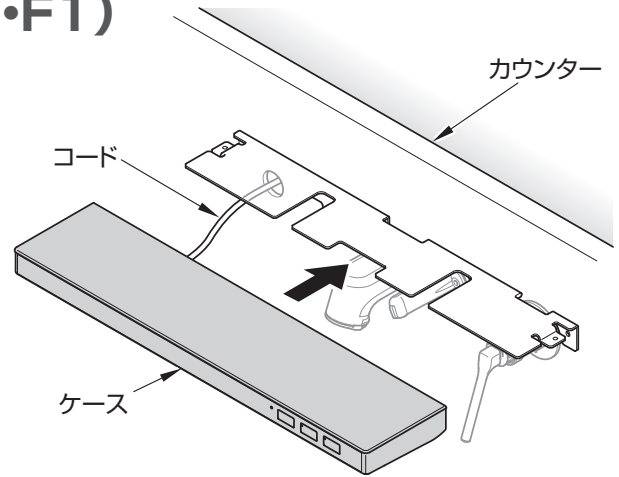


6 ケースの取り付け(F4・F3・F2・F1)

1 ケースをブラケットに差し込みながら取り付ける

注意

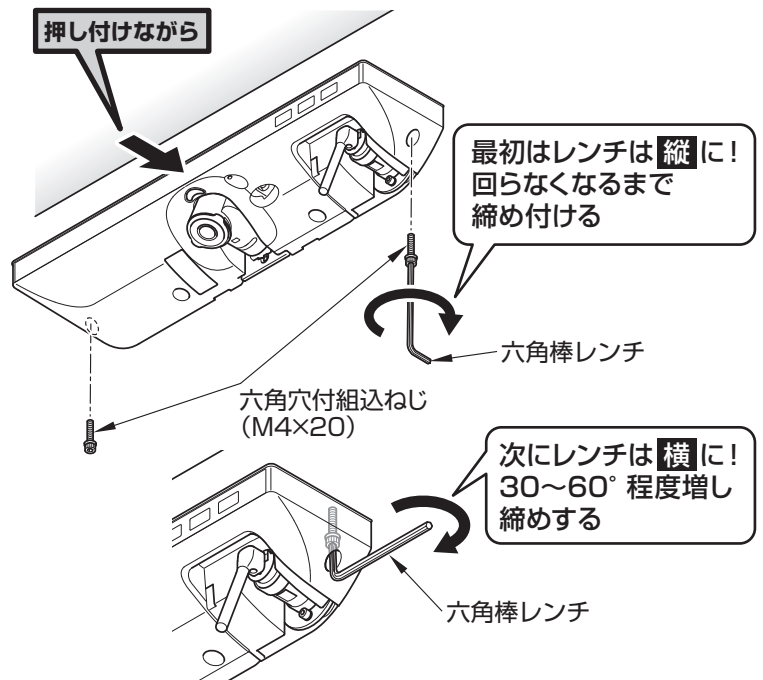
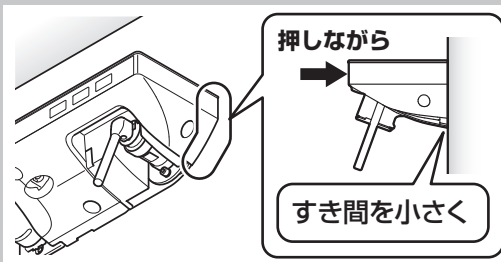
【F4・F3・F2の場合】
コードを挟み込まないようにしてください。



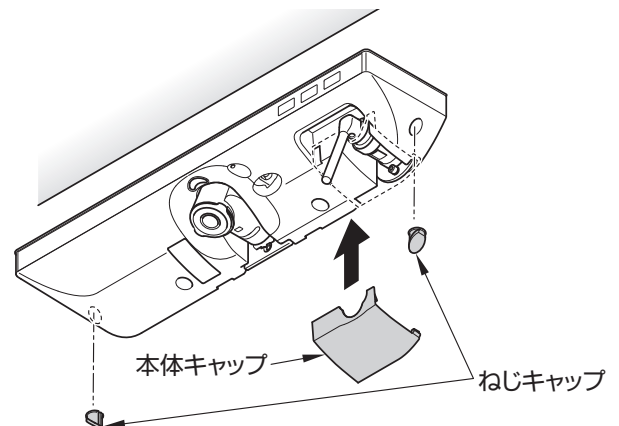
2 ケースをブラケットにねじで2カ所固定する

注意

- ・電動ドライバーは使用しないでください。
- ・付属の六角棒レンチで締め付けてください。
ねじの焼き付きの原因になります。
- ・ケースをカウンターに押し付けながら、すき間が小さくなるように固定してください。



3 本体キャップ(1個)とねじキャップ(2個)を取り付ける

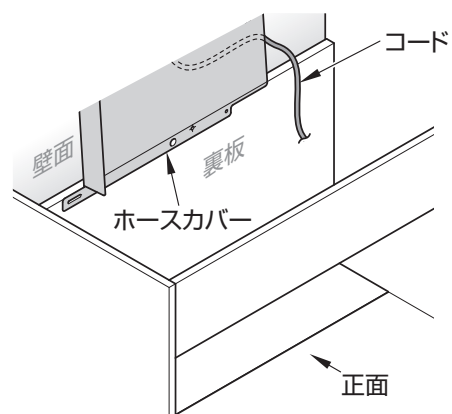


4 【F4・F3・F2の場合】

コードを壁とホースカバーの間に通して、
向かって右側へ出してください

※ホースカバー下部を手前にめくると
作業がしやすくなります。

ホースカバーをめくった場合、コードを
取り出した後は、元に戻してください。



7 機能部固定板の取り付け (F4・F3・F2)

キャビネットの間口サイズとカウンター高さに応じた
設置位置を確認する

(単位：mm)

間口	750・900・1000	1200
機能部固定板 設置位置	右側板 壁 裏板 突き当て 機能部固定板 高さ250※ 高さ370※ カウンター高さ 床	裏板 機能部固定板 側板から95 高さ370※ カウンター高さ 床
	カウンター高さが800・850mmの場合は、高さ寸法は上記 ※カウンター高さが750mmの場合は、高さ寸法上記ー50mm	

6

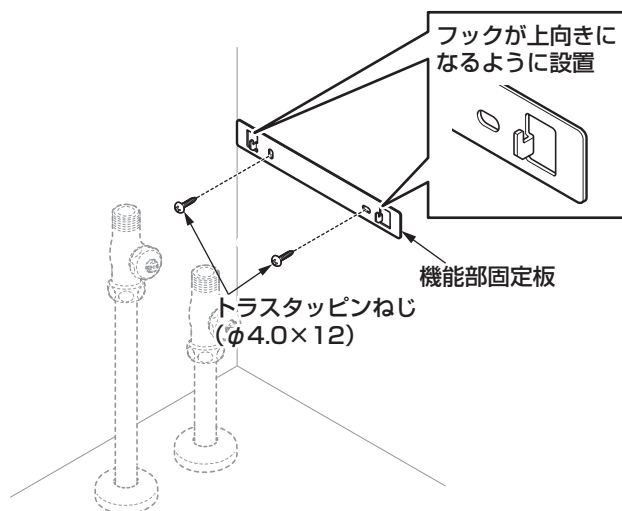
取り付け手順

機能部固定板が水平であることを確認して
トラスタッピンねじで固定する。(2カ所)

注意

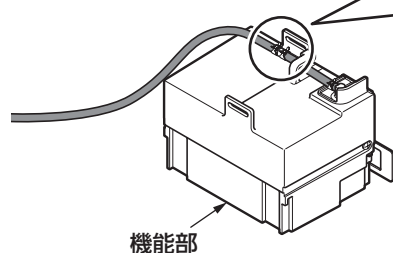
側板に取り付ける場合

下穴をあける際は貫通しないように
してください。



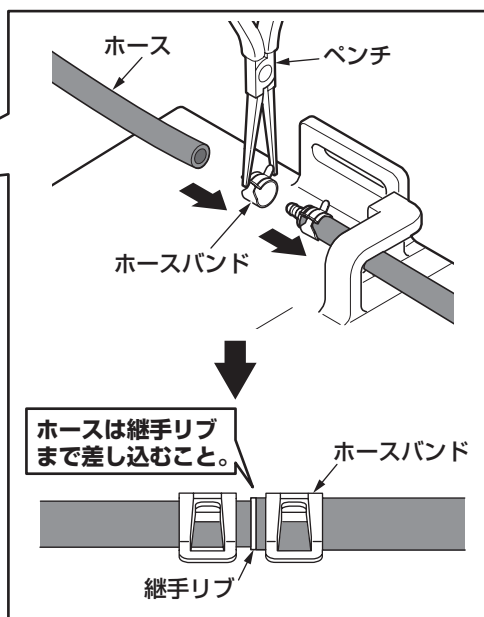
8 ホースの接続 (F4・F2)

機能部へホースを接続し、同梱のホースバンドで止める



注意

ホースを抜き差しする際はまっすぐ水平に行ってください。

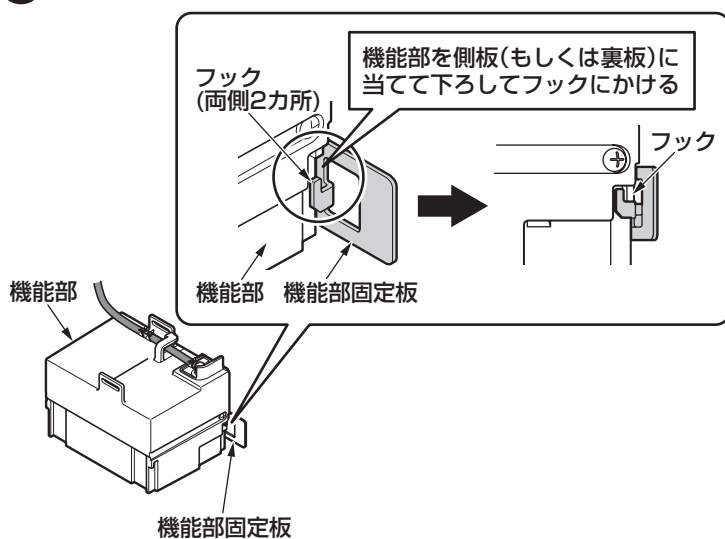


6

取り付け手順

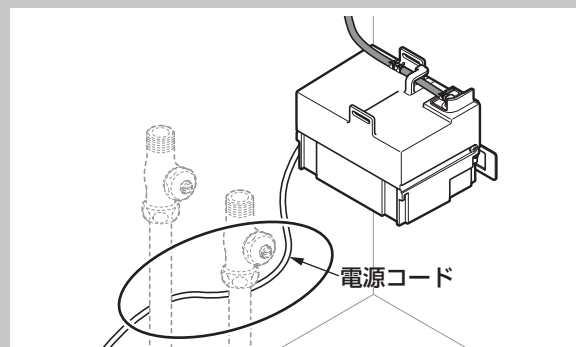
9 機能部の取り付け (F4・F3・F2)

1 機能部固定板のフックに機能部を取り付ける (2カ所)



注意

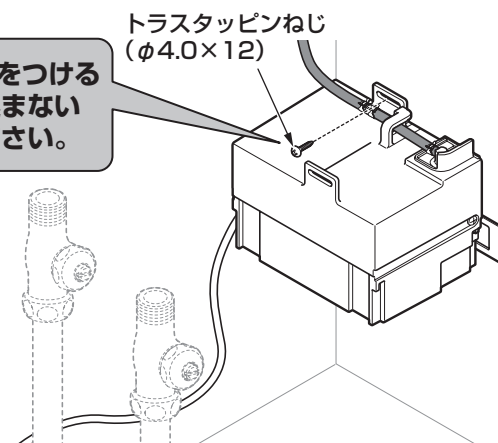
化粧台の上に水栓ユニットと連動する化粧鏡を設置しない場合は電源コードが奥になるように設置してください。



2 機能部上側の横長穴部をトラスタッピンねじでキャビネットに固定する (1カ所)

注意

トラスタッピンねじをつける際はホースを挟み込まないように注意してください。



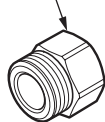
⑩ フィルターの取り付け (F4・F2)

フィルター継手にフィルターが入っていることを確認して、
分岐金具に継手を取り付ける

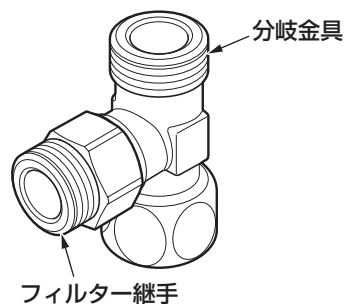
注意

フィルターの向きに注意してください

フィルター継手

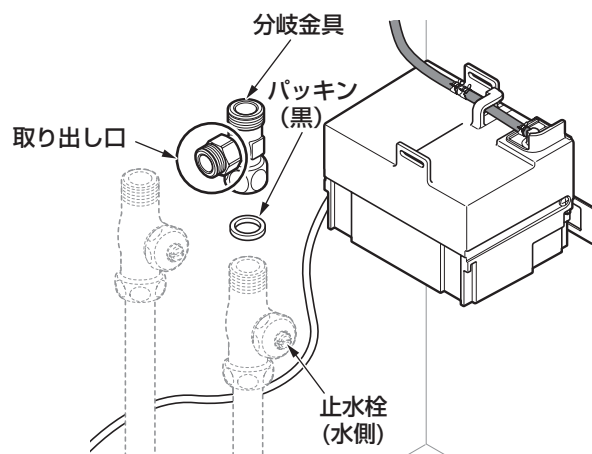


フィルター



⑪ 分岐金具の取り付け (F4・F2)

分岐金具にパッキンを入れて止水栓に取り付ける
取り出し口の向きは、「⑫ フレキシブル管の取り付け」を参考に取り付ける

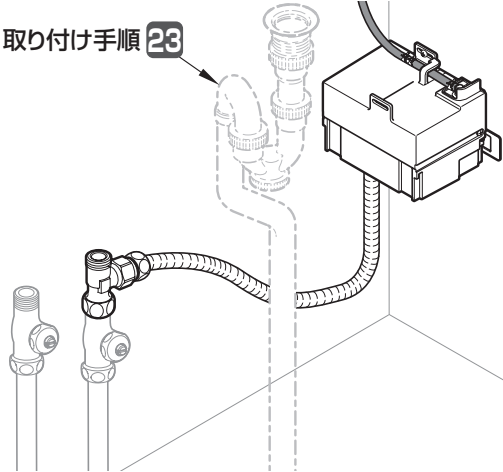
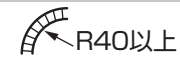
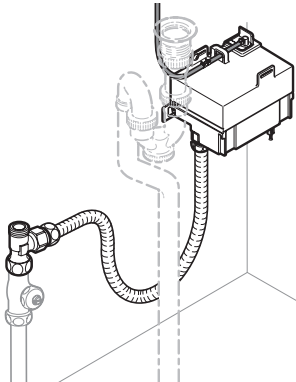
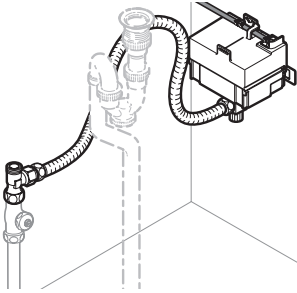
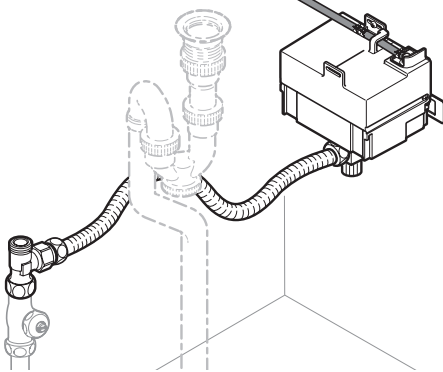
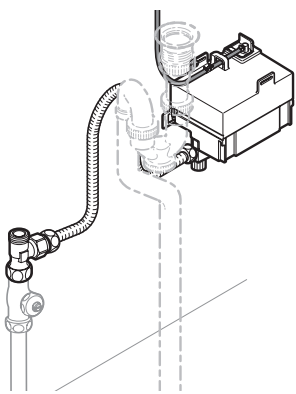
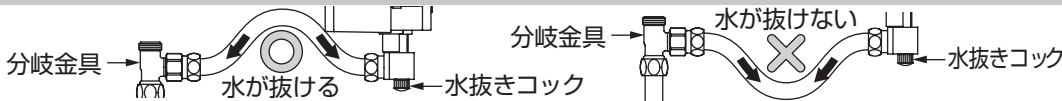


12 フレキシブル管の取り付け (F4・F2)

フレキシブル管の接続については、キャビネットの間口を確認のうえ、以下の表を参考に排水トラップの後ろを通るように設置してください。フレキシブル管の両端に必ずパッキン（黒）を入れてください。排水トラップ取り付け時にご注意ください。

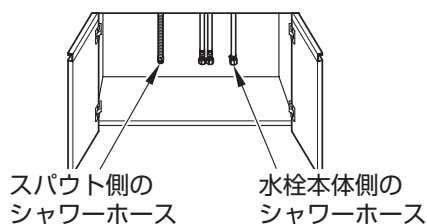
6

取り付け手順

間口	750mm	900mm	1000mm	1200mm
一般地	 取り付け手順 23 注意 フレキシブル管の曲げRは内側R40mm以上確保できるようにしてください。 			
寒冷地			 注意 ＜寒冷地設置の場合＞ フレキシブル管内の水が抜けるように、必ず機能部の水抜きコックと分岐金具接続部に向かって傾斜するように接続してください。 	

13 シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け(F4・F3・F2・F1)

洗面化粧台のキャビネット内で
シャワーホースを接続する。
(給水ホースより奥側で接続する)

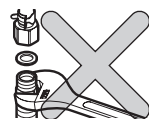


⚠ 注意



禁止

**スパウト側シャワーホースのナット
は絶対に回さない**
シャワーホースがよじれて、水漏れの原因
となります。



注意

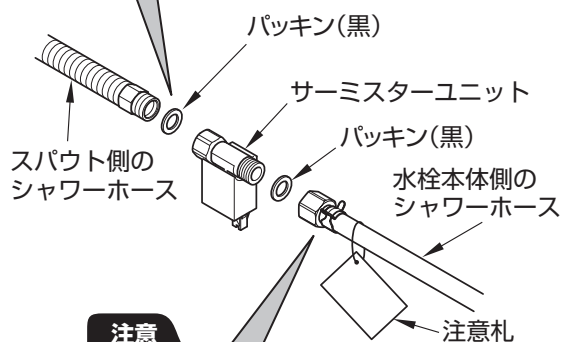
- ・同梱の「シャワーホース取り付け時の注意」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。
- ・パッキンをなくさないように注意してください。

【F4・F3の場合】

一般地用の場合

注意

必ずサーミスターユニットの
袋ナットを回してください。



注意

必ず水栓本体側のシャワーホースの
袋ナットを回してください。

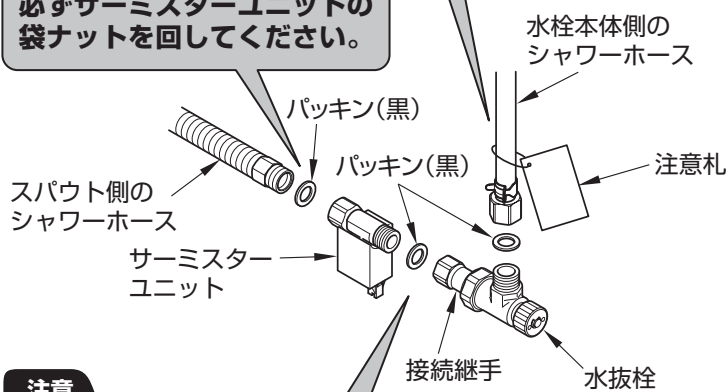
寒冷地用の場合

注意

必ず水栓本体側のシャワーホースの
袋ナットを回してください。

注意

必ずサーミスターユニットの
袋ナットを回してください。



注意

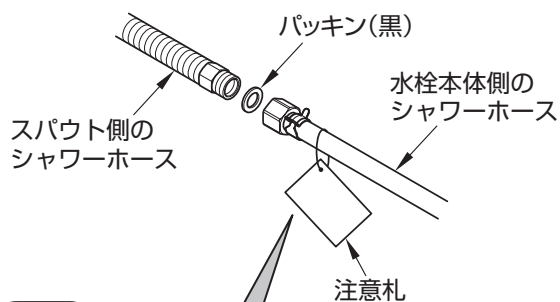
必ず接続継手側の袋ナットを
回してください。

【F2・F1の場合】

一般地用の場合

注意

必ず水栓本体側のシャワーホースの
袋ナットを回してください。



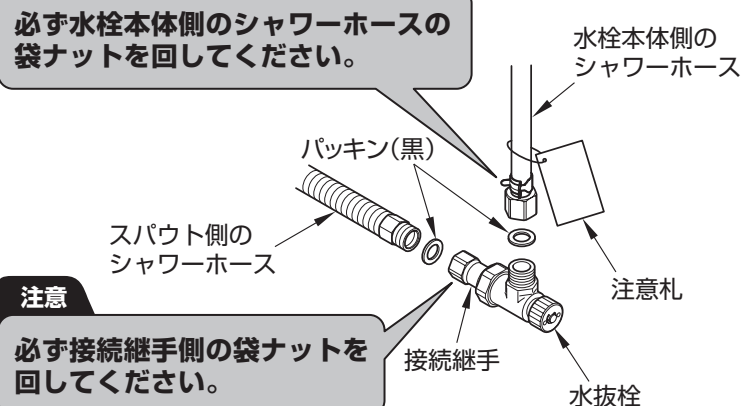
寒冷地用の場合

注意

必ず水栓本体側のシャワーホースの
袋ナットを回してください。

注意

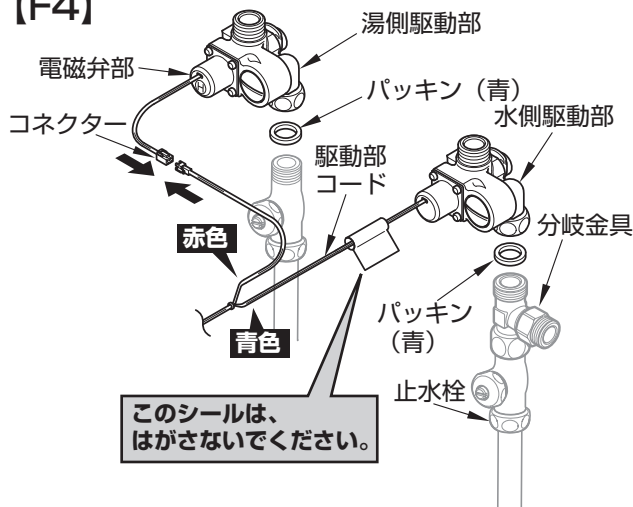
必ず接続継手側の袋ナットを
回してください。



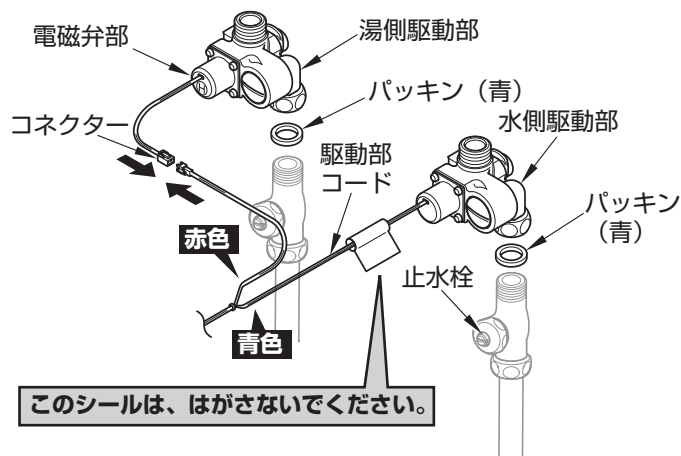
14 駆動部の取り付け(F4・F3)

1 駆動部を湯側・水側を間違えないように止水栓に取り付ける

【F4】



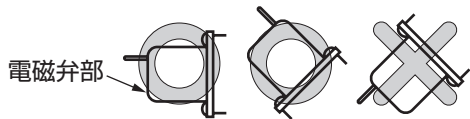
【F3】



2 湯側駆動部のコネクターを駆動部コードのコネクター(赤色)に接続する

注意

- ・ 駆動部には、湯側(Hラベル・赤色コード)と水側(青色コード)の区別をしていますので、ご注意ください。
- ・ 駆動部は、電磁弁部およびフィルターが正面になるように固定してください。取り付け上、正面にできない場合は、電磁弁部が必ず水平より上向きになるようにしてください。
- ・ コネクターはロックするまで確実に差し込んでください。
- ・ シャワーホースとの干渉を防ぐため、駆動部コードは湯側・水側駆動部の外側を通るように配線してください。



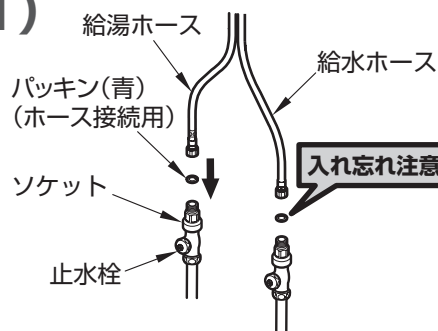
15 給水・給湯ホースの接続(F4・F3・F2・F1)

1 ソケットを固定する

2 給水・給湯ホースをソケットに接続する

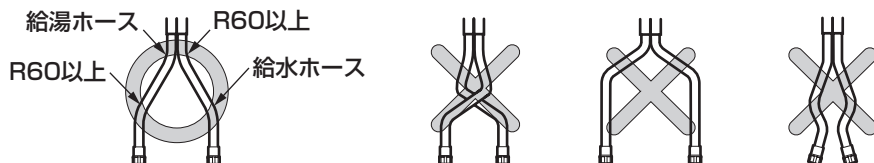
注意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ・ ホースを **必要以上の力で曲げて 折らないように** 注意してください。ホースの **最小曲げ半径は60mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ・ ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ・ ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。
- ・ ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



16 化粧鏡の取り付け

※化粧鏡の取り付けは、化粧鏡に付属の組立・設置説明書に従い取り付けてください。

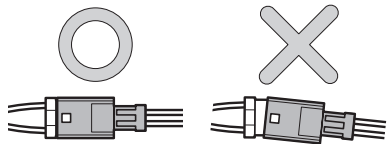
※化粧鏡取り付け後は、本誌のP21の17の工程になります。

〈F1の場合〉 → P.22 18へ

17 配線の接続(F4・F3・F2)

1 配線の接続

注意

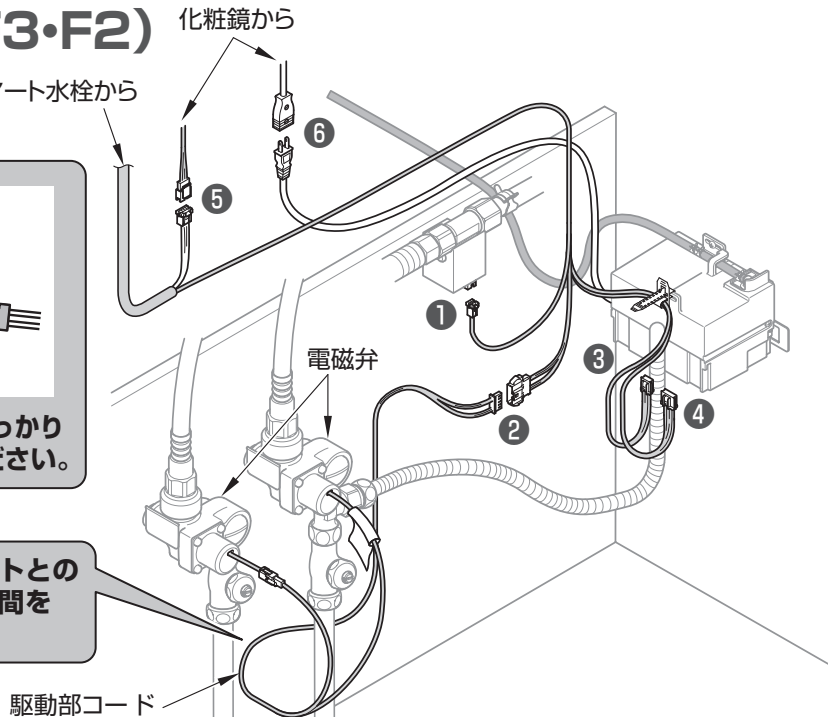


奥までしっかり
差し込む

コネクターの接続時は奥までしっかり
差し込めているか確認してください。

注意

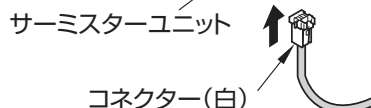
駆動部コードは、キャビネットとの
接触を避けるため、電磁弁の間を
通すようにしてください。



【F4・F3】

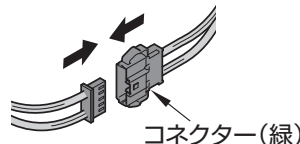
① サーミスターユニットと接続

水栓ユニットから
出ているコネクター
(白)をサーミスター
ユニットと接続する



② 電磁弁と接続

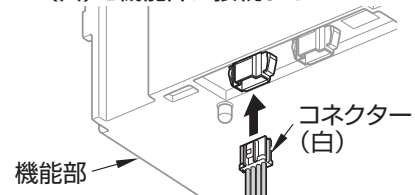
水栓ユニットから出ている
コネクター(緑)を電磁弁から
出ているコネクターと接続する



【F4・F2】

③ 機能部と接続

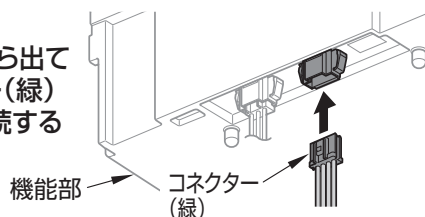
水栓ユニットから出ているコネクター
(白)を機能部に接続する



【F4・F3・F2】

④ 機能部と接続

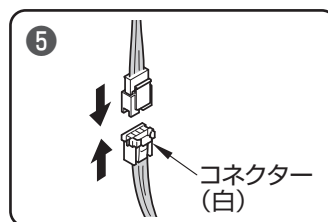
水栓ユニットから出て
いるコネクター(緑)
を機能部に接続する



⑤ 化粧鏡と接続

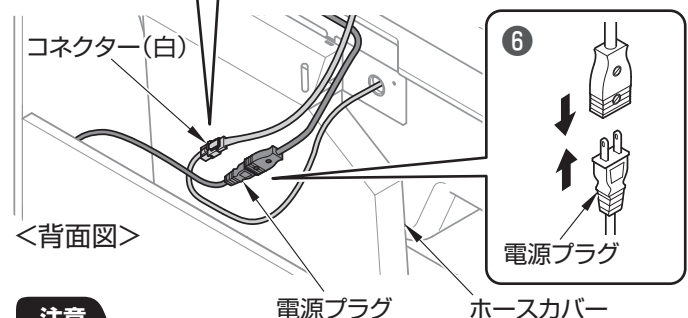
ホースカバーの下側をねじから外し、化粧鏡から出
ているコネクター(白)を水栓ユニットから出ている
コネクター(白)と接続する

※化粧鏡を設置しない場合または水栓ユニット
(F4・F3・F2)と連動しない化粧鏡を設置する場合
は接続しません。



注意

必ずコネクター接続部は
ホースカバーの後ろ側
に来るように配置する



⑥ 電源プラグ接続

化粧鏡から出ている配線を引き出し、機能部から
出ている電源プラグと接続する

⑤で外したホースカバーを元に戻す

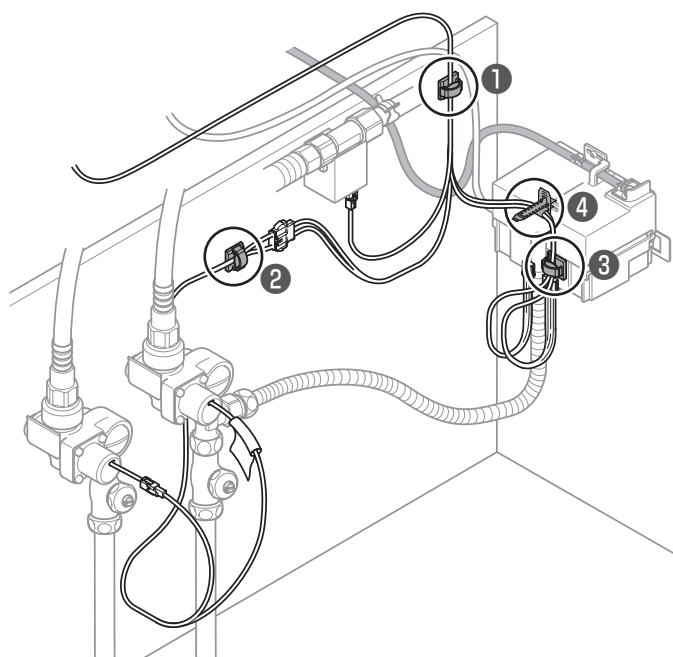
※化粧鏡を設置しない場合または水栓ユニット
(F4・F3・F2)と連動しない化粧鏡を設置する場合
は接続しません。

注意

必ず電源プラグの接続部はホースカバーの後ろ
側に来るように配置する。電源が入ると感知距離
を自動設定しますので、センサーに手をかざした
り、洗面ボウル内にものを置いたりしないでくだ
さい。(約20秒間でこの動作は完了します)



② 整線作業・クランプの取り付け

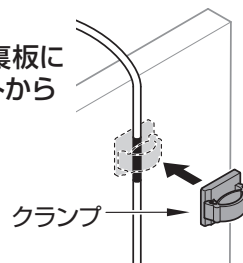


注意

各種コードやホースは給湯管などの高温部に接触しないように固定してください。

- ① 水栓ホースとの干渉を避けるため
サーミスターユニットより右側の裏板に
クランプを取り付け、水栓ユニットから
出ている配線を通す

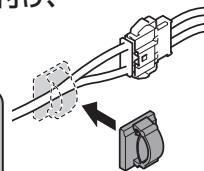
※黒テープが巻いてある位置で
クランプ止める



- ② コネクター浸水防止のため
電磁弁より上の裏板にクランプを取り付け、
水栓ユニットから出ている配線を通す

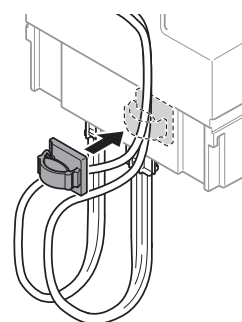
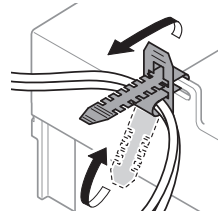
注意

水受けトレイを取り付けるときに
干渉しないよう注意してください。



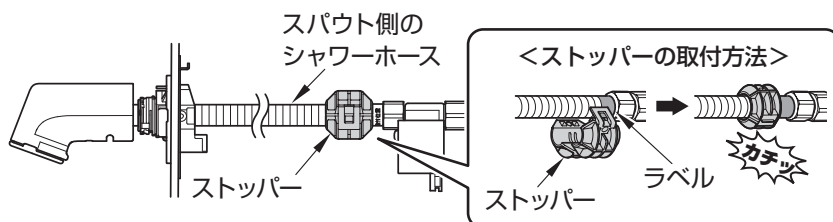
- ③ 引張防止のため
機能部にクランプを取り付け、
水栓ユニットから出ている配線
を通す。

- ④ コードバンドを機能部にある
穴に通し、配線をまとめる



⑬ ストッパーの取り付け (F4・F3・F2・F1)

ストッパーをラベルの位置(右図参照)に
「カチッ」とはめ込む

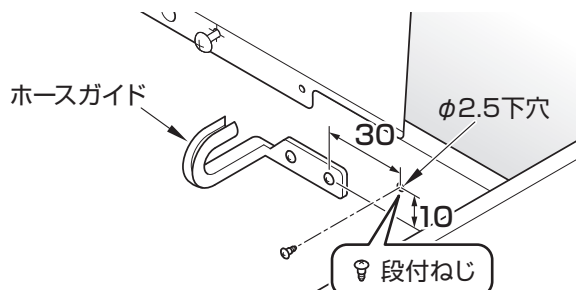


〈F2の場合〉 → P.23 ㉒へ

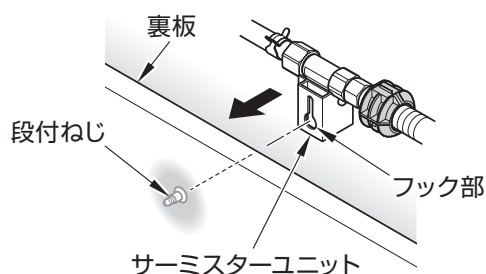
〈F1の場合〉 → P.23 ㉒へ

⑭ サーミスターユニットの固定 (F4・F3)

- ① ホースガイドの右側にある下穴に、付属されている段付ねじを取り付ける



- ② 段付ねじの頭をサーミスターユニットのフック部に入れ、下へスライドさせて固定する

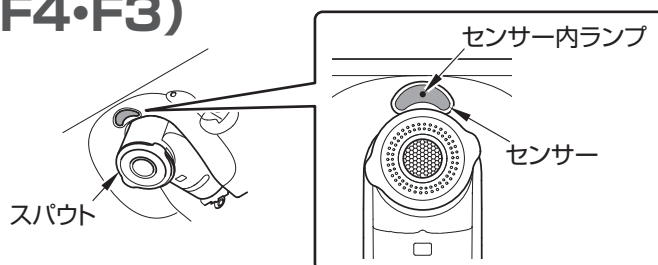


注意

強い衝撃や外力を加えると破損する原因になります。
ホースの引き出しや吐水時に破損しない
ように必ず固定してください。

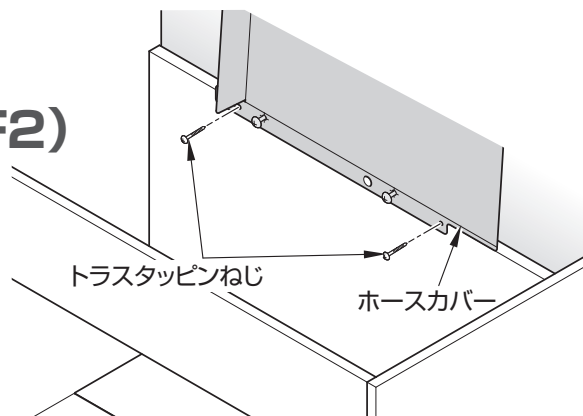
20 センサー内ランプの確認 (F4・F3)

センサー内に手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する



21 ホースカバーの固定 (F4・F3・F2)

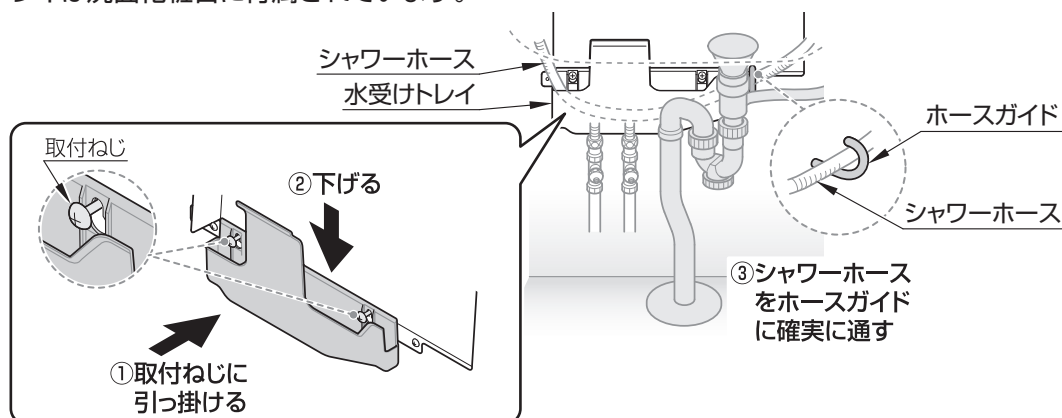
付属されているトラスタッピンねじでホースカバーを固定する



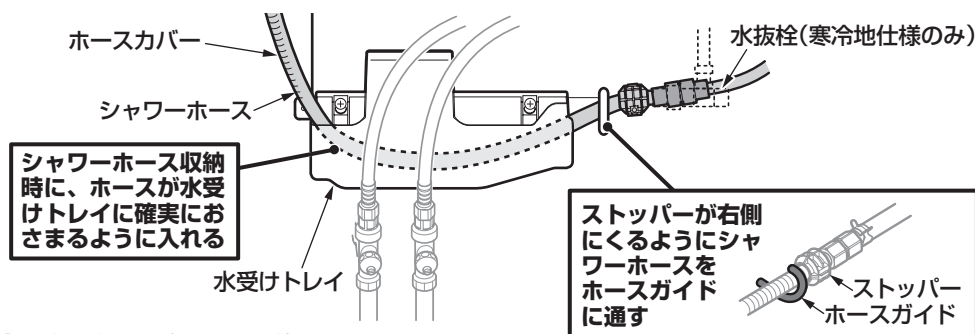
22 水受けトレイの取り付け・シャワーホースの収納 (F4・F3・F2・F1)

1 水受けトレイを取り付け、シャワーホースを収納する

※水受けトレイは洗面化粧台に付属されています。



●シャワーホースが水受けトレイに確実に収まっているか確認する



2 スパウトの引き出し操作確認を実施してください。

スパウト側シャワーホースがホースカバーに引っかかっていないことを確認してください。

23 排水トラップの取り付け

※排水トラップの取り付けは、化粧台に付属の組立・設置説明書に従い取り付けてください。

※排水トラップの取り付け後は、本誌P24「7)化粧鏡のLED照明の明るさ設定」を実施してください。

7 化粧鏡のLED照明の明るさ設定

- 水栓ユニットがF4・F3・F2で化粧鏡の間口が1000・1200サイズは、下記の設定を実施してください。
※下記品番以外の化粧鏡を設置する場合は設定不要です。

注意

設定をしないと化粧鏡のLED照明から、十分な明るさが得られません。

〈設定方法〉

① コネクターの接続を確認後、電源を入れ直す

【電源プラグの場合】

- 電源プラグを抜き、10秒以上たってから差し直す

【直結配線の場合】

- ブレーカーを一度落とし、10秒以上たってから入れ直す

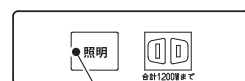
【電源が使用できない場合(電気工事中などの場合)】

- 仮設電源に接続する

② ①を実施後、2分以内に照明スイッチを15秒間長押し

注意

照明スイッチを押すと化粧鏡のLED照明が点灯しますが、照明スイッチから指を離さず長押ししてください。



照明スイッチ

③ 定期ミストランプが5秒間点滅(青)すると設定完了

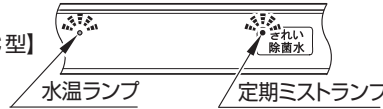
【LJFA001A型】



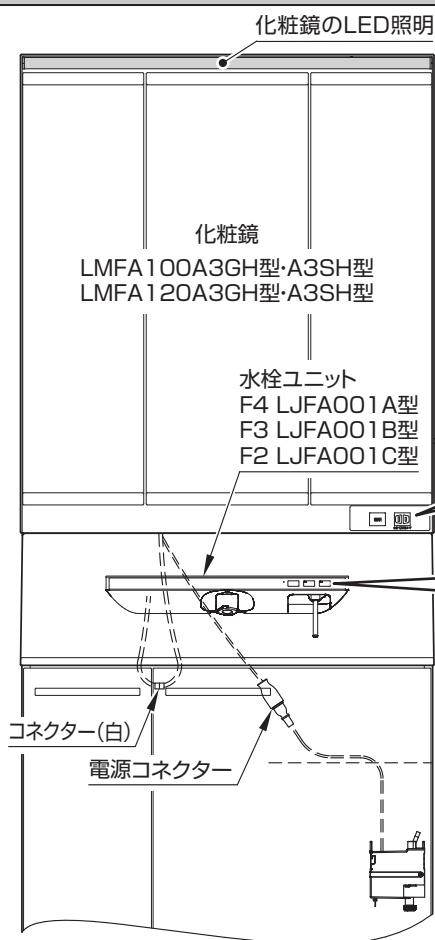
【LJFA001B型】



【LJFA001C型】



※水温ランプが点滅(赤)した場合は、①に戻り再度設定を実施してください。
※一度設定すると電源を落としても設定は変わらないため再設定する必要はありません。



8 試運転

シングル水栓の確認 (F2・F1)

①-1. 水栓ユニット設置後の通水確認とフィルター掃除

水栓ユニット設置後は通水確認を実施し、必ずフィルター掃除を実施してください。
建築配管内のごみにより、フィルターが詰まる可能性があるためです。

【フィルターの掃除】

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、レバーハンドルを閉めてから行ってください。

また、シャワーホースが熱くないことを確認してください。

① 止め輪を取り外す

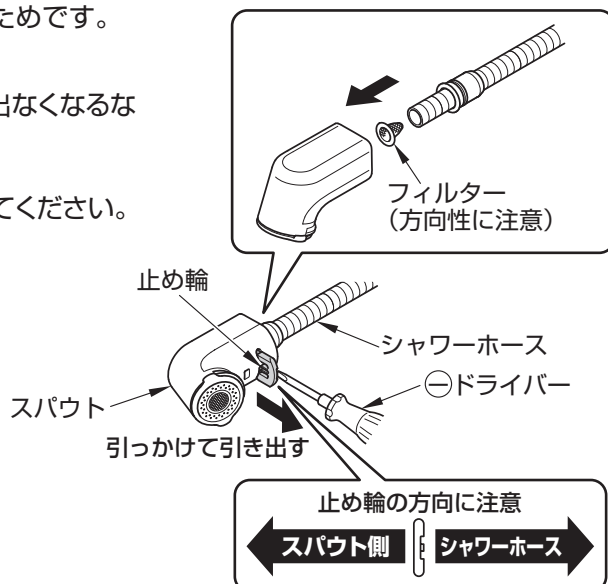
② シャワーホースを引き抜く

③ フィルターを外し掃除したあと、シャワーホース内のゴミを水を流して取る

④ フィルターを元に戻す

①-2. 止水栓の調整

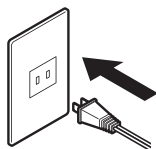
止水栓で流量を調整してください。(P.29～32参照)



自動水栓の確認 (F4・F3)

2-1. 電源を入れる

電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
※電気工事の場合、仮設電源(AC100V)に接続してください。

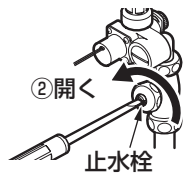


2-2. 水出し確認

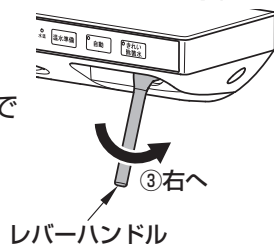
- ① 駆動部手動弁が「閉」の状態になっているか確認する
(手動弁が「開」の状態では自動スイッチでの止水ができません。)



- ② 止水栓を開く
(湯側・水側で2カ所あります。)



- ③ レバーハンドルを右に動かして吐水状態にしてください
(レバーハンドルが開状態でも水は出ません。)



- ④ 水を出す・止める

センサーを使う場合

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
- センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。
※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

センサーを使わない場合

- 自動スイッチを押すと水が出ます。(自動ランプが消灯)
もう一度押すと止まります。(自動ランプが点灯(緑))



※正常に動作しない場合は、

各コネクターが確実に接続されているか確認してください。

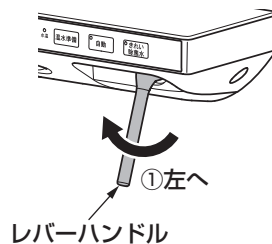
6-17「配線の接続」を参照ください。

※水が出ない場合は、

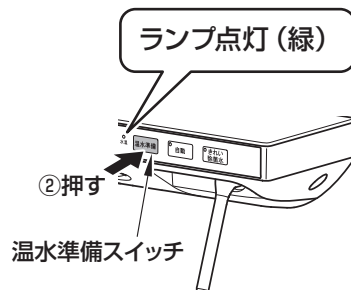
10「使用上の注意」を参照ください。

2-3. 温水準備機能の確認

- ① レバーハンドルを左に動かして吐水状態にしてください。



- ② 「温水準備機能」スイッチを押してください。
温水になるまで自動で水を出し続けます。
準備が完了すると水温ランプが緑点灯(緑)します。



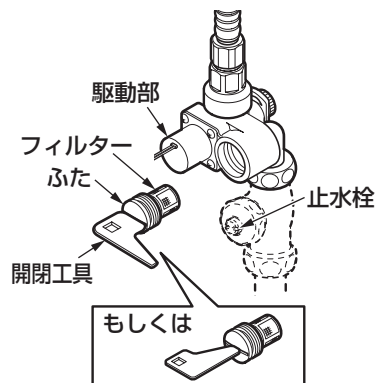
やけど防止機能が作動した場合

- 水温ランプが点滅(赤)している場合は、自動吐水できない状態です。

10「使用上の注意」を参照ください。

2-4. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明ください。



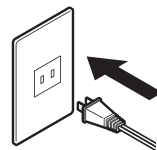
※フィルターを掃除する際は、湯側駆動部が熱くないことを確認し、**止水栓を閉めたあと、ふたを外してください。**

「きれい除菌水」の確認 (F4・F2)

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転および調節を行ってください。

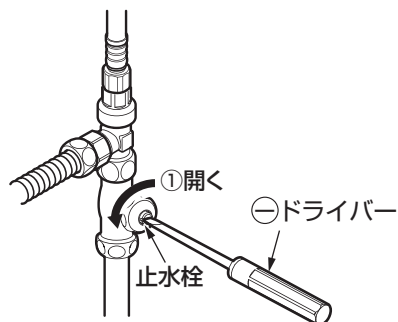
3-1. 電源を入れる

電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
※電気工事中の場合、仮設電源(AC100V)に接続してください。



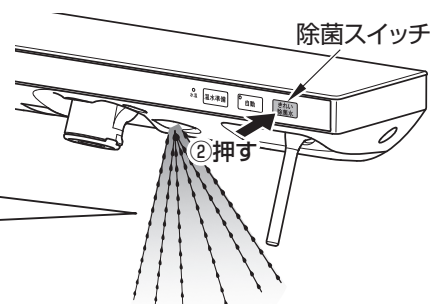
3-2. 水出し確認

① 止水栓を開く



② 除菌スイッチを押す

「きれい除菌水」が出て除菌吐水サインが点灯(青)します。
約14秒後に自動で止まります。



ミスト状態の「きれい除菌水」が排水口にむかって噴霧されます。

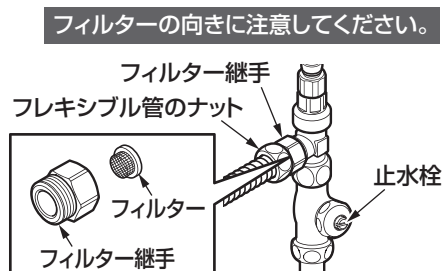
3-3. フィルターの掃除

試運転後は必ずフィルターを掃除してください。
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

① 止水栓を閉める

② フレキシブル管のナットを外し、フィルター継手を外す

③ フィルター継手からフィルターを外し、清掃する



9 吐水口部のお掃除のしかた



建築配管内のごみによるものです。
フィルターの掃除で改善できない場合に実施してください。

散水穴と吐水口網のお手入れ

- ① スパウトを引き出す
- ② 散水板の小穴に詰まったごみや汚れ・水あかを歯ブラシなどで取り除く
- ③ スパウトを元の位置に戻す。
- ④ 切替操作部を左側いっぱいにした状態(ソフト吐水)にする
- ⑤ 付属の吐水口網開閉工具を吐水口網の切り欠きに差し込み、回して外す
- ⑥ 吐水口網に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く

部品を紛失しないように、あらかじめ洗面器などに水をためてから洗ってください。

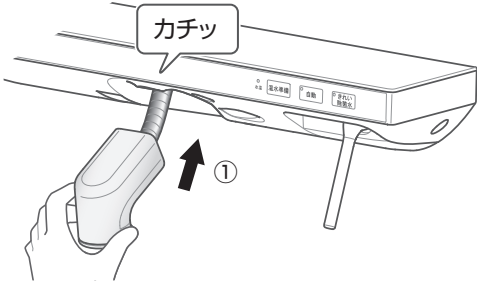
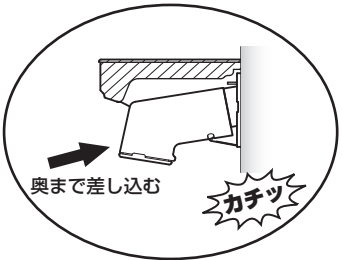
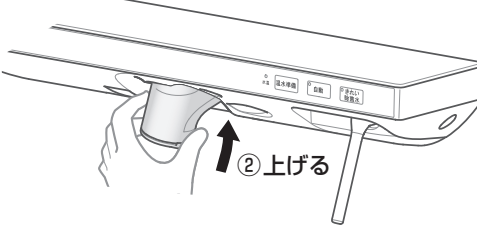
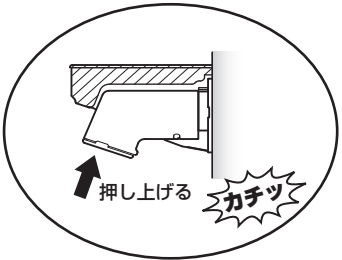
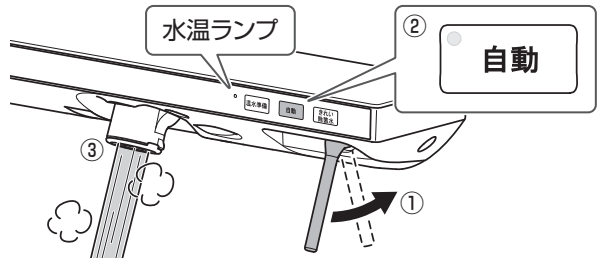
- ⑦ 吐水口網を取り付ける

取り付け完了後、水を出し、接続部から水漏れがないか確認してください。



10) 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分にご説明ください。

現 象	説 明
流水音が大きいと感じる。	水圧が高いことや使用流量が多いことにより発生することが考えられます。 流量を絞ることで流水音を低減できます。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、 故障ではありません。
水が出ない。	自動ランプが点滅(緑) スパウトがしっかり差し込まれているか確認してください。 ①カチッと音がするまで押し込む   ②押し上げる   ※正しい位置に戻せていないと自動ランプが点滅(緑)し、お知らせします。(F4・F3)
	水温ランプが点滅(緑) サーミスターユニットに接続しているコネクターがしっかり接続しているか確認してください。 
	水温ランプが点滅(赤) 水温が高温になっているため、やけど防止機能が作動しています。 下記方法で復帰させてください。 ①レバーハンドルを水側へ回す。 ②自動スイッチを押す。(自動ランプ消灯) ③点滅(赤)が消えるまで水を出す。  ※最初に出る熱いお湯に触れないでください。

11 点検事項

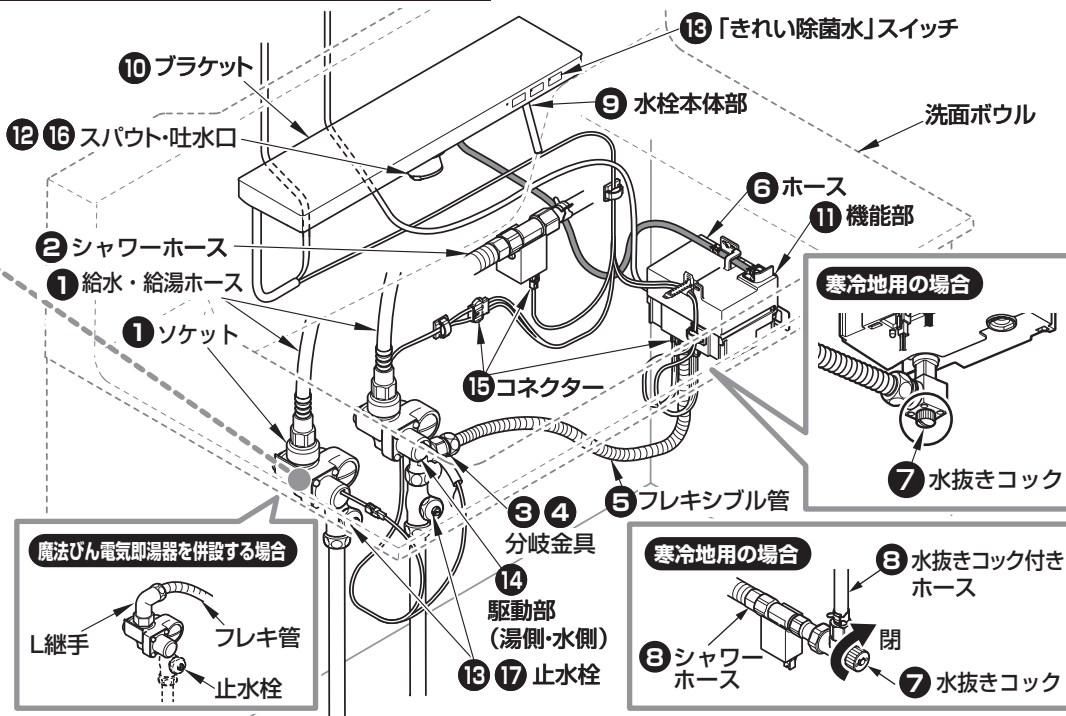
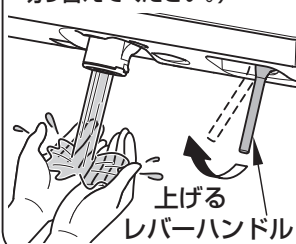
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

【F4の場合】



水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。(水を出すときは吐水口に手を近づけるか、手動モードに切り替えてください。)



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースはソケットにしっかり取り付けられていますか？

➡ 6 - 15 「給水・給湯ホースの接続」参照

② シャワーホースの連結部は確実に締め付けられていますか？

➡ 6 - 13 「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

③ フィルター部の水漏れはないですか？

➡ 6 - 10 「フィルターの取り付け」参照

④ 分岐金具部の水漏れはないですか？

➡ 6 - 11 「分岐金具の取り付け」参照

⑤ フレキシブル管部の水漏れはないですか？

➡ 6 - 12 「フレキシブル管の取り付け」参照

⑥ ホースは機能部に接続していますか？

➡ 6 - 8 「ホースの接続」参照

寒冷地用の場合

⑦ 水抜きコックは、しっかり閉まっていますか？

➡ 水抜きコックを閉める。

⑧ シャワーホースは水抜き栓にしっかり接続されていますか？

➡ 6 - 13 「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑨ 水栓本体部のボルト(3本)は確実に締め付けていますか？

➡ 6 - 2 「水栓本体部の取り付け」参照

⑩ ブラケットのボルト(4本)は確実に締め付けていますか？

➡ 6 - 5 「ブラケットの取り付け」参照

⑪ 機能部にガタツキがないですか？

➡ 6 - 9 「機能部の取り付け」参照

動作の確認

スパウトがスムーズに引き出せるか、確認してください。

⑫ スパウトは洗面ボウルの先端付近まで引き出せますか？

➡ シャワーホースが正しく取り付けられているか確認する。



⑬ スイッチを押して「きれい除菌水」が噴霧されますか？

➡ 止水栓は開いていますか？

➡ 8 - 3 - 2. 「水出し確認」参照

⑭ 分岐金具と水側駆動部の順番は適切ですか？

➡ 6 - 14 「駆動部の取り付け」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

⑮ コネクターはしっかり差し込まれていますか？

➡ 6 - 17 「配線の接続」参照

流量、吐水状態、吐水温度の確認

流量が少ないときや、吐水状態が悪いときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑯ フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

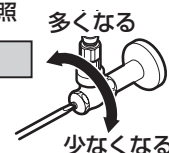
➡ フィルター・吐水口の掃除をする。

➡ 8 - 2 - 4. 「フィルターの掃除」参照

➡ 9 「吐水口部のお掃除のしかた」参照

⑰ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。



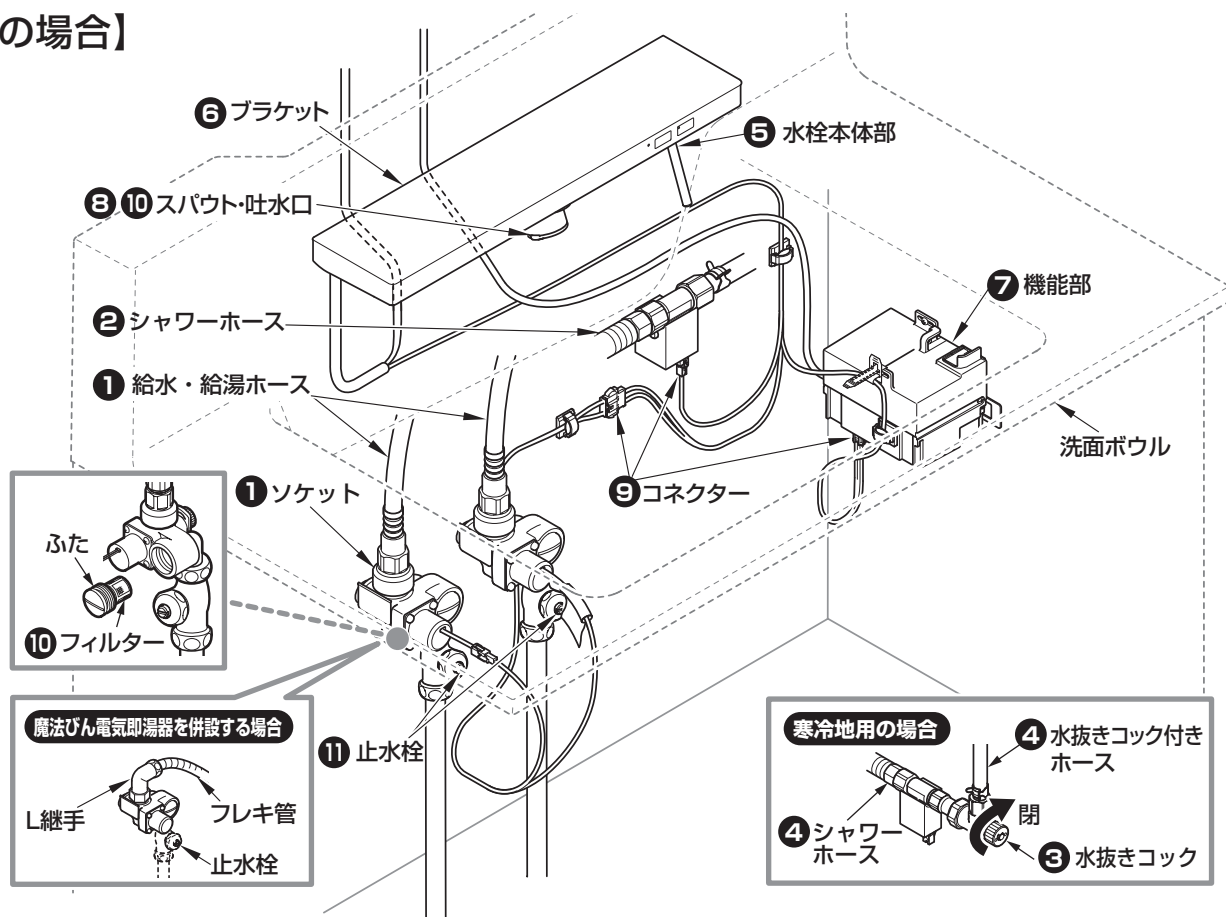
最適流量の目安

※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量が5~6L/分程度(計量カップなどで500mlが約5秒)になるように止水栓で調節してください。

11

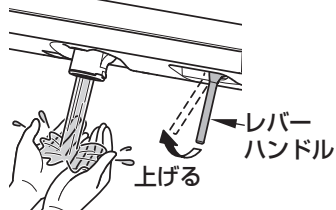
点検事項

[F3の場合]



水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。(水を出すときは吐水口に手を近づけるか、手動モードに切り替えてください。)



動作の確認

スパウトがスムーズに引き出せるか、確認してください。

⑧スパウトは洗面ボウルの先端付近まで引き出せますか？

→ シャワーホースが正しく取り付けられているか確認する。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

①給水・給湯ホースはソケットにしっかり取り付けられていますか？

→ ⑥ - ⑮「給水・給湯ホースの接続」参照

②シャワーホースの連結部は確実に締め付けられていますか？

→ ⑥ - ⑬「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

寒冷地用の場合

③水抜きコックは、しっかり閉まっていますか？

→ 水抜きコックを閉める。

④シャワーホースは水抜き栓にしっかり接続されていますか？

→ ⑥ - ⑬「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑤水栓本体部のボルト(3本)は確実に締め付けていますか？

→ ⑥ - ②「水栓本体部の取り付け」参照

⑥ブラケットのボルト(4本)は確実に締め付けていますか？

→ ⑥ - ⑤「ブラケットの取り付け」参照

⑦機能部にガタツキがないですか？

→ ⑥ - ⑨「機能部の取り付け」参照

コネクターの確認

コネクタがしっかり差し込まれているか確認してください。

⑨コネクタはしっかり差し込まれていますか？

→ ⑥ - ⑮「配線の接続」参照

流量、吐水状態、吐水温度の確認

流量が少ないときや、吐水状態が悪いときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑩フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

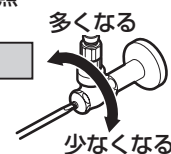
→ フィルター・吐水口の掃除をする。

→ ⑧ - ②-4.「フィルターの掃除」参照

→ ⑨「吐水口部のお掃除のしかた」参照

⑪止水栓は開いていますか？

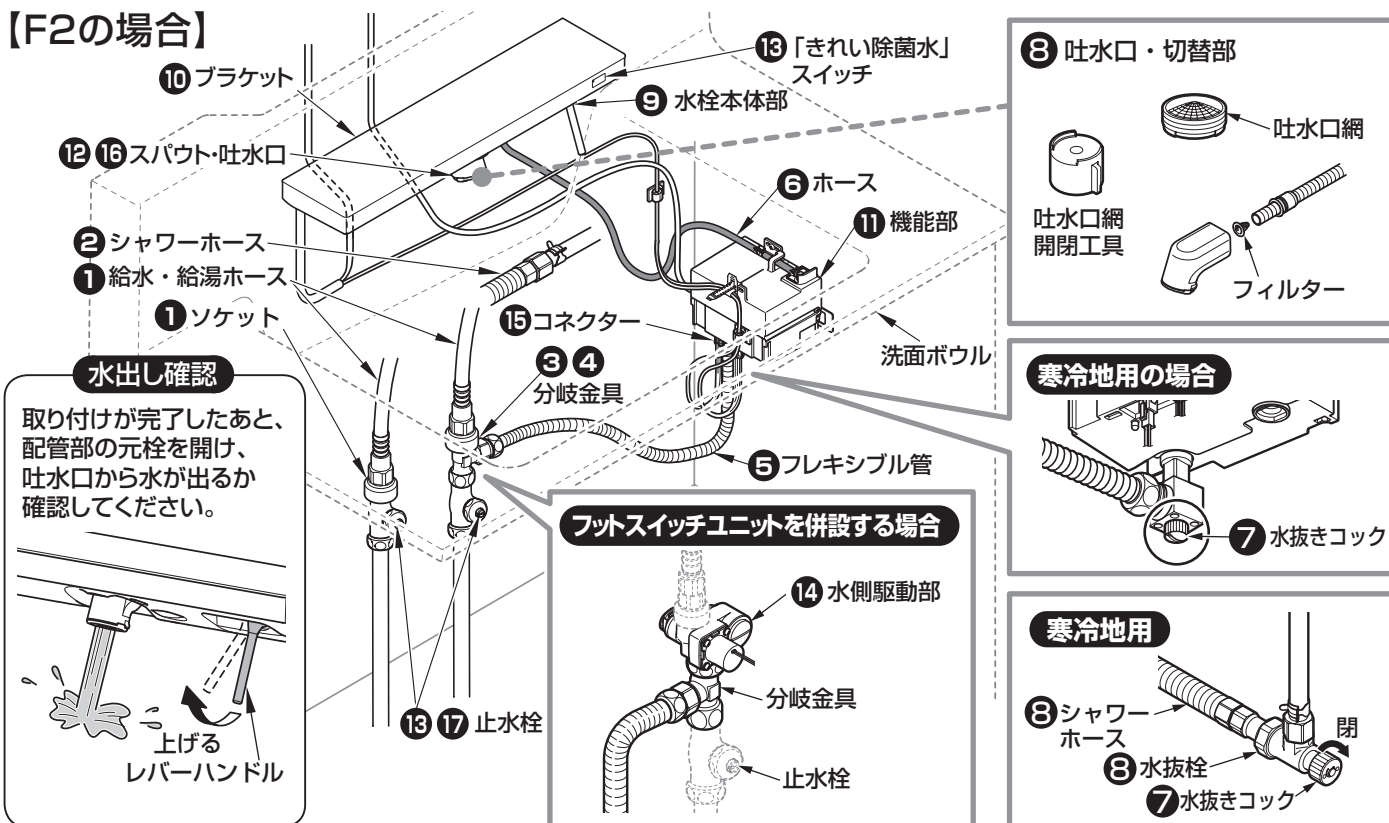
→ 止水栓で流量を調節する。



最適流量の目安

※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量が5~6L/分程度(計量カップなどで500mlが約5秒)になるように止水栓で調節してください。

【F2の場合】



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ① 給水・給湯ホースはソケットにしっかり取り付けられていますか？
→ ⑥ - ⑮「給水・給湯ホースの接続」参照
 - ② シャワーホースの連結部は確実に締め付けられていますか？
→ ⑥ - ⑬「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照
 - ③ フィルター部の水漏れはないですか？
→ ⑥ - ⑩「フィルターの取り付け」参照
 - ④ 分岐金具部の水漏れはないですか？
→ ⑥ - ⑪「分岐金具の取り付け」参照
 - ⑤ フレキシブル管部の水漏れはないですか？
→ ⑥ - ⑫「フレキシブル管の取り付け」参照
 - ⑥ ホースは機能部に接続していますか？
→ ⑥ - ⑧「ホースの接続」参照
- 寒冷地用の場合**
- ⑦ 水抜きコックは、しっかり閉まっていますか？
→ 水抜きコックを閉める。
 - ⑧ シャワーホースは水抜き栓にしっかり接続されていますか？
→ ⑥ - ⑬「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ⑨ 水栓本体部のボルト(3本)は確実に締め付けていますか？
→ ⑥ - ②「水栓本体部の取り付け」参照
- ⑩ ブラケットのボルト(4本)は確実に締め付けていますか？
→ ⑥ - ⑤「ブラケットの取り付け」参照
- ⑪ 機能部にガタツキがないですか？
→ ⑥ - ⑨「機能部の取り付け」参照

動作の確認

スパウトがスムーズに引き出せるか、確認してください。

- ⑫ スパウトは洗面ボウルの先端付近まで引き出せますか？
→ シャワーホースが正しく取り付けられているか確認する。
 - ⑬ スイッチを押して「きれい除菌水」が噴霧されますか？
→ 止水栓は開いていますか？
⑧ - ③ - 2.「水出し確認」参照
- フットスイッチユニットと併設の場合**
「きれい除菌水」が出るか確認してください。
- ⑭ 分岐金具と水側駆動部の順番は適切ですか？
→ ⑥ - ⑭「駆動部の取り付け」参照

コネクタの確認

コネクタがしっかり差し込まれているか確認してください。

- ⑮ コネクタはしっかり差し込まれていますか？
→ ⑥ - ⑰「配線の接続」参照

流量、吐水状態、吐水温度の確認

流量が少ないときや、吐水状態が悪いときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ⑯ フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？
→ フィルター・吐水口の掃除をする。
⑧ - ① - 1.「フィルターの掃除」参照
⑨「吐水口部のお掃除のしかた」参照
- ⑰ 止水栓は開いていますか？
→ 止水栓で流量を調節する。

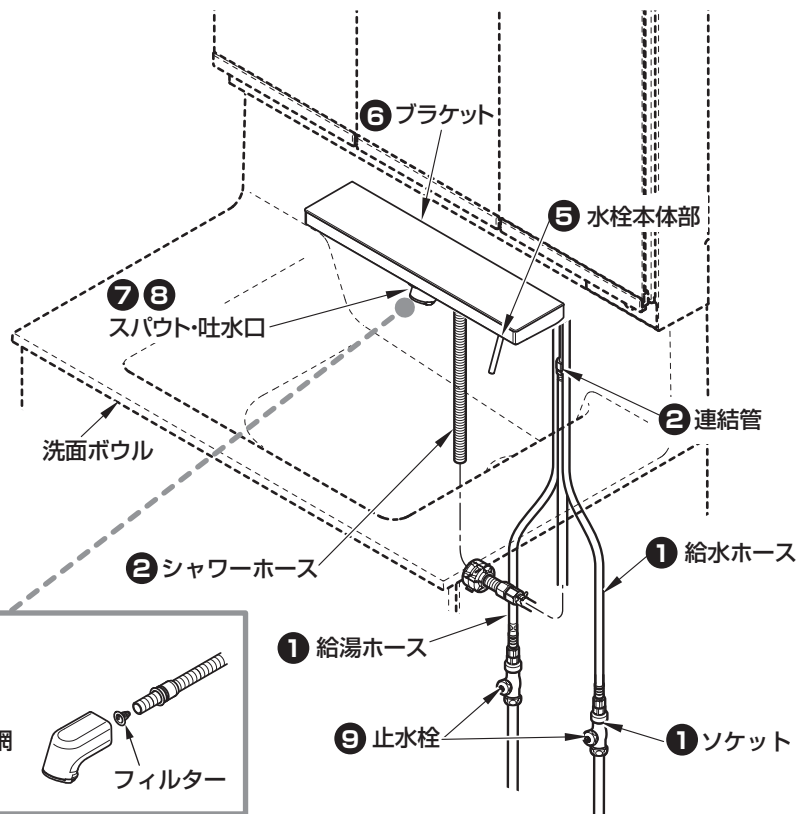
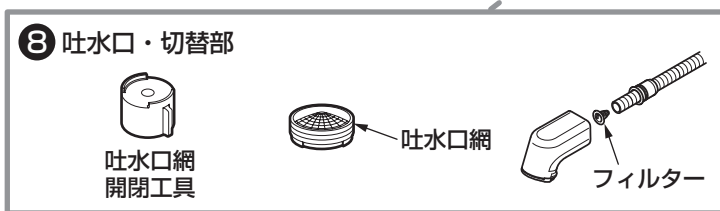
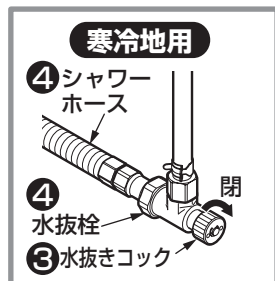
最適流量の目安

※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量が5~6L/分程度(計量カップなどで500mlが約5秒)になるように止水栓で調節してください。

11

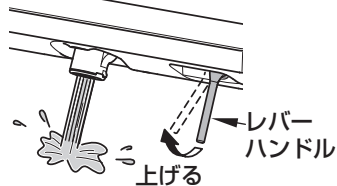
点検事項

【F1の場合】



水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースはソケットにしっかり取り付けられていますか？

➡ ⑥ - ⑮ 「給水・給湯ホースの接続」参照

② シャワーホースの連結部は確実に締め付けられていますか？

➡ ⑥ - ⑬ 「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

寒冷地用の場合

③ 水抜きコックは、しっかり閉まっていますか？

➡ 水抜きコックを閉める。

④ シャワーホースは水抜栓にしっかり接続されていますか？

➡ ⑥ - ⑬ 「シャワーホース・サーミスターユニットの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑤ 水栓本体部のボルト(3本)は確実に締め付けていますか？

➡ ⑥ - ② 「水栓本体部の取り付け」参照

⑥ ブラケットのボルト(4本)は確実に締め付けていますか？

➡ ⑥ - ⑤ 「ブラケットの取り付け」参照

動作の確認

スパウトがスムーズに引き出せるか、確認してください。

⑦ スパウトは洗面ボウルの先端付近まで引き出せますか？

➡ シャワーホースが正しく取り付けられているか確認する。



流量、吐水状態、吐水温度の確認

流量が少ないときや、吐水状態が悪いときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑧ フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ フィルター・吐水口の掃除をする。

➡ ⑧ - ① - 1. 「フィルターの掃除」参照

➡ ⑨ 「吐水口部のお掃除のしかた」参照



⑨ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。



最適流量の目安

※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量が5~6L/分程度(計量カップなどで500mlが約5秒)になるように止水栓で調節してください。

12) 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

重要

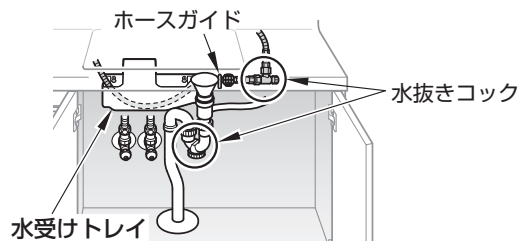
水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。
配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

【全機種共通】

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

【水栓の水抜き】

洗面化粧台の内部から引き出しや収納物を取り出してください。



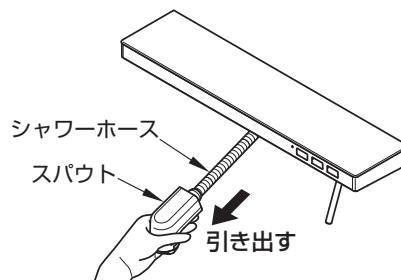
〈次の手順に従って水抜きを行ってください〉

① 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う

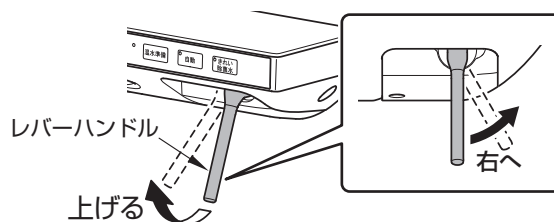
② 電磁の手動弁を開にする (F4・F3)



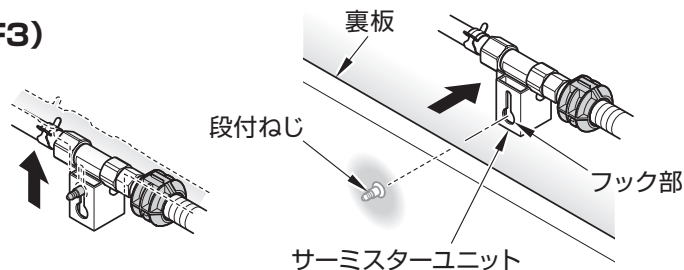
③ スパウトを持ち、スイングさせてシャワーホースを全部引き出す



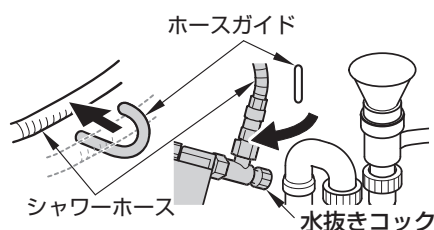
④ レバーハンドルを上げ、右側いっぱいに戻す



⑤ サーミスターユニットを段付ねじから外す (F4・F3)

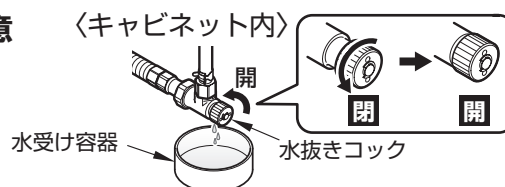


⑥ シャワーホースをホースガイドから外し、水抜きコックをホースガイドにかからないように手前に持ち上げながら引き出す

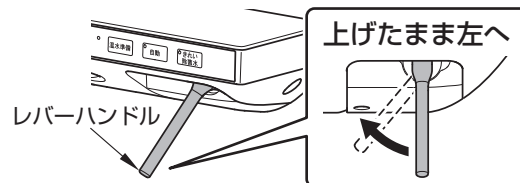


⑦ 水抜きコックの下に水受け容器（洗面器など）を用意し、水抜きコックを開ける

●水抜きコック：1カ所



⑧ レバーハンドルを上げたまま左側いっぱい回す



⑨ ホース内の水を抜く

スパウトおよびシャワーホースを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。



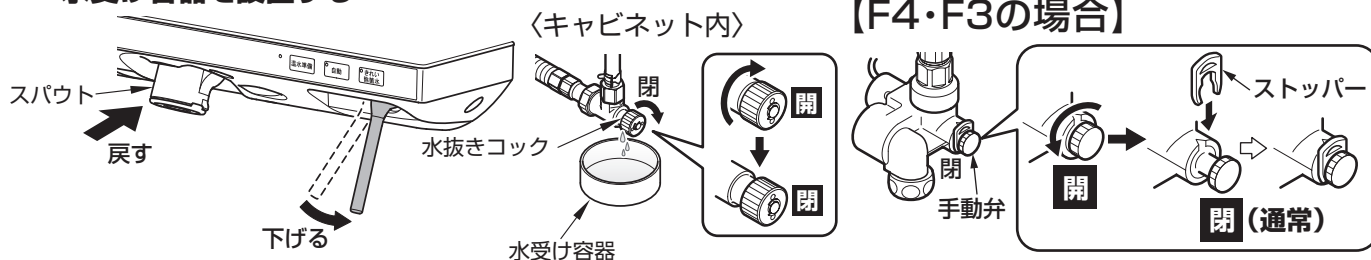
⑩ 水が抜けたら、スパウトを元に戻し、レバーハンドルを下げ、水抜きコック、手動弁（F4・F3の場合）を閉める

●水抜きコック：1カ所

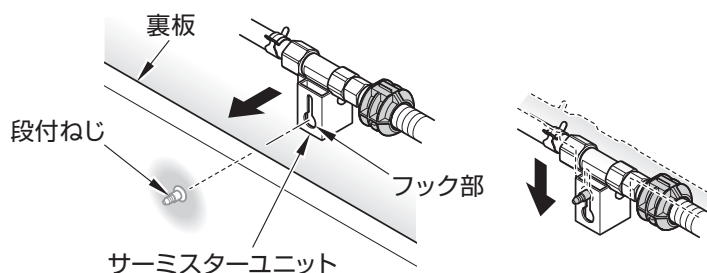
水受け容器を設置する

重要

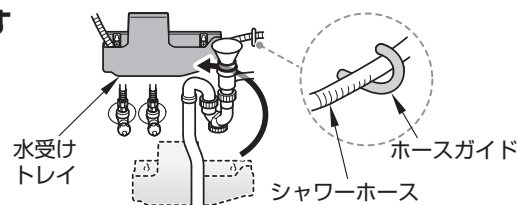
【F4・F3の場合】



⑪ サーミスターユニットの固定（F4・F3）



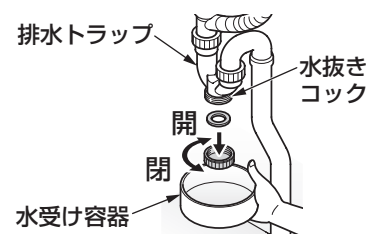
⑫ シャワーホースをホースガイドに通し、水受けトレイを元に戻す



【排水トラップの水抜き】

① 水受け容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。

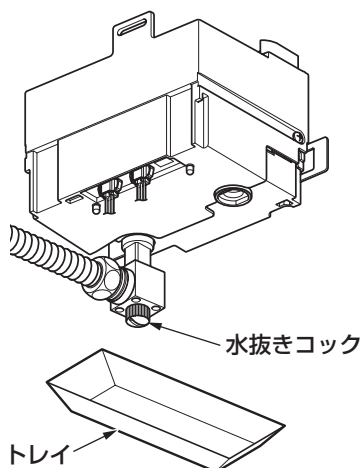
② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。（工具は使用しないでください）



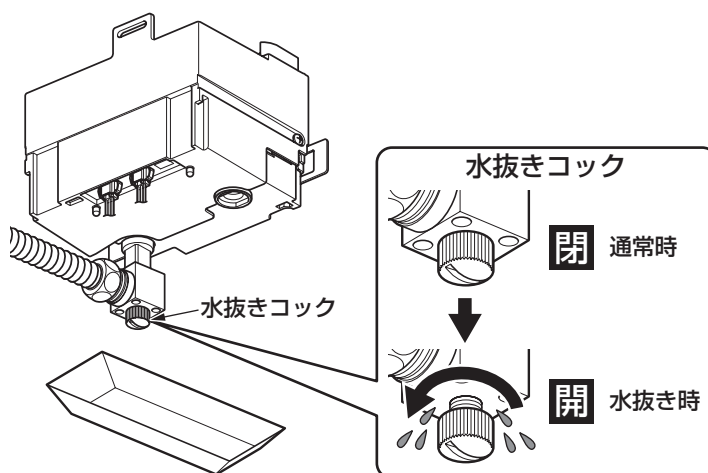
【F4・F2の場合】

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

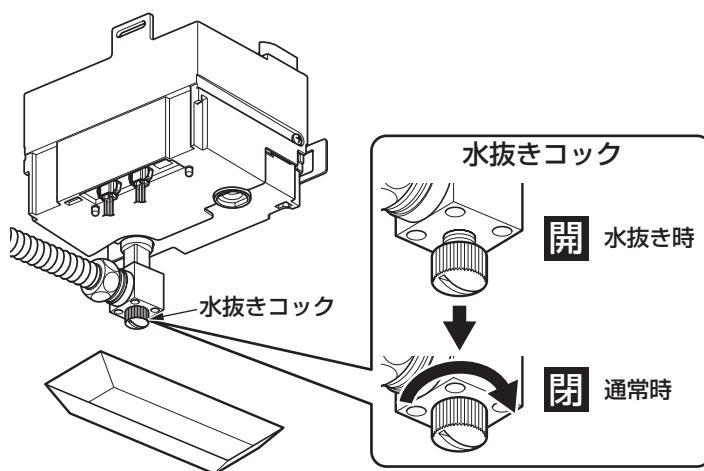
- ①** 水抜きコックの下にトレイを置く
約80ccの水が出ます(5秒間程度)



- ②** 水抜きコックを開けて、配管内の水を抜く
(水抜きコック1カ所)



- ③** 水が抜けたら、水抜きコックを閉める
(水抜きコック1カ所)



※同梱の取扱説明書などは、
必ずお客様にお渡しください。

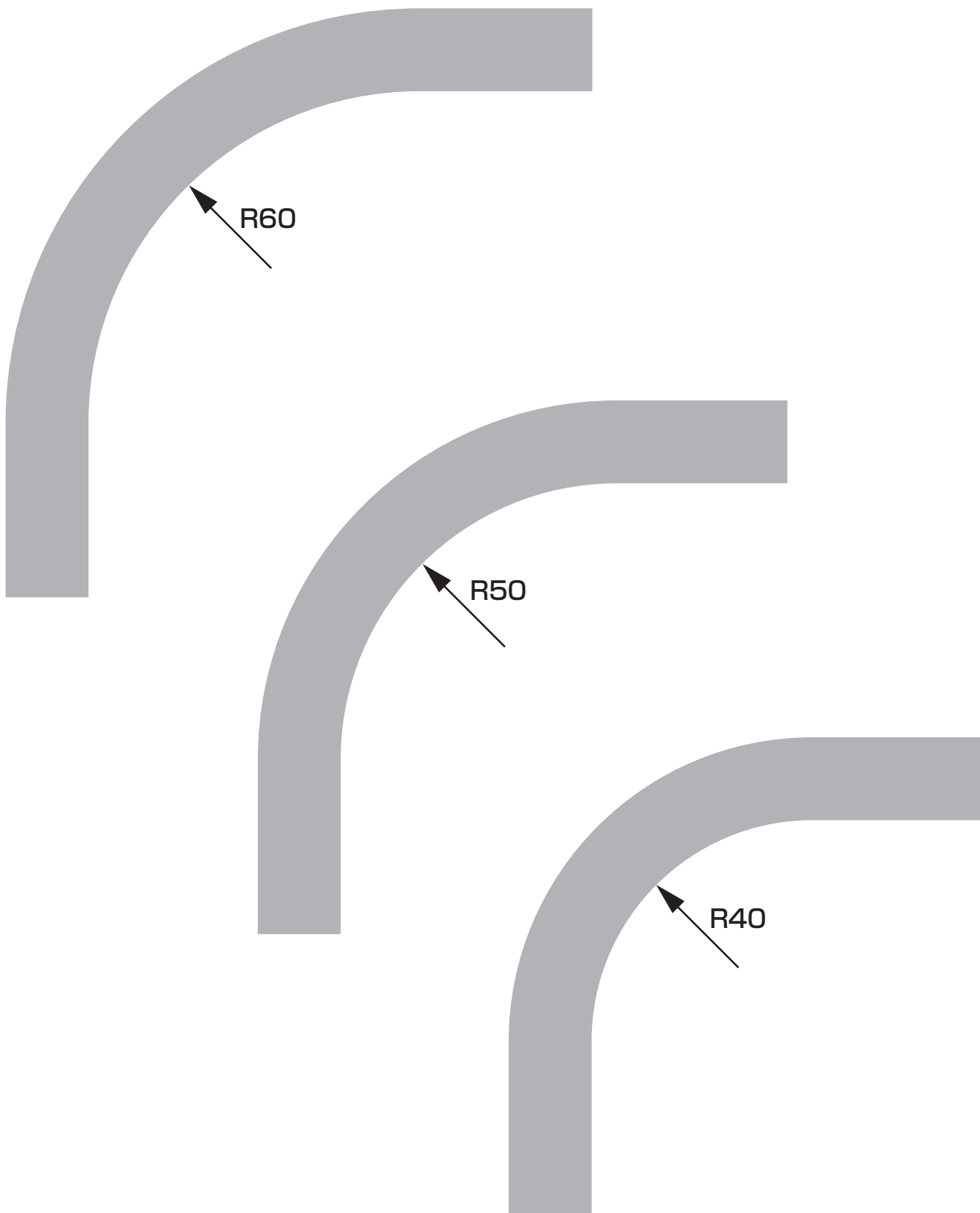
フレキシブル管を取り付ける際に参考にしてください。

⚠ 注意



禁止

内側R40以下の曲げは絶対しない
破損して、水漏れにより家財などをぬらす
財産損害発生のおそれがあります。



12

寒冷地用の水抜き方法